

目次

	高松市美術館
04	平成26(2014)年度
	高松市塩江美術館
27	平成26(2014)年度
	参考資料
40	施設概要・組織図 高松市美術館条例
42	高松市塩江美術館条例
44	沿革
46	高松市美術館友の会

凡例

収集作品のデータは、原則として以下の通りに記した。

収集区分(購入、寄贈、寄託)

分類(平面、映像、立体、工芸・漆工、工芸・金工)

作家名(50音順)

作品名

制作年

技法・材質

寸法(平面=縦×横／立体=高さ×幅×奥行き、高さ×直径の順)

高松市美術館

平成26(2014)年度

1. 展覧会

(1) 特別展



北原照久コレクション

現代アートと時代を映すおもちゃ展

会期 2014年4月11日(金)～5月18日(日)
 月曜日休館(但し、5月5日開館、5月7日休館)33日間
 主催 高松市美術館
 後援 朝日新聞高松総局 OHK岡山放送 産経新聞高松支局
 山陽新聞社 RSK山陽放送 四国新聞社 KSB瀬戸内海放送
 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 毎日新聞高松支局
 読売新聞高松総局
 協力 株式会社トイズ 香川大学
 入場料 一般1,000円 大学生500円 高校生以下無料
 入場者数 5,688人

世界的なブリキのおもちゃコレクターとして知られている北原照久。北原のコレクションは、おもちゃだけにとどまらず、現代アーティストたちにも関心を傾けて作家の作品制作に対する情熱に共感し、立体作品を中心としたアートコレクションを築いてきた。本展では、北原が愛蔵している10万点を超えるコレクションの中から33人の気鋭の現代作家たちによって生み出されたアート作品を一堂に展覧するとともにブリキのおもちゃなど古き時代を映してきた玩具、併せて約650点を紹介した。展示作品＝約650点

[関連イベント]

記念講演会

「コレクションがもたらしてくれたもの」

5月4日(日)13:00～14:30
 講師：北原照久(ブリキのおもちゃ博物館館長)
 場所：講堂(聴講無料)
 参加人数：194人
 ※講演会終了後、サイン会有

ギャラリートーク(2階展示室/観覧券要)

当館学芸員による
 4月26日(土)14:00～
 参加人数：25人
 美術館ボランティアcivi(シヴィ)による
 会期中の日曜日および祝日(5月4日14:00を除く)
 11:00～、14:00～(計19回)
 参加人数：延294人

上演会「カラクリシアター」

4月27日(日)13:00～、15:00～(2回公演)
 講師：ムットーニ(武藤政彦/自動人形師)
 場所：2階展示室内(観覧券必要)
 参加人数：延べ180人

ワークショップ「みんなで作ろう!ツクモ神」☆

エントランス・ミニコンサート★
 ☆＝教育普及の頁参照 ★＝芸術的催物の頁参照



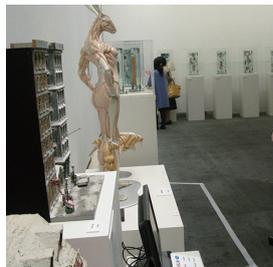
会場



記念講演会



サイン会



カラクリシアター上映

[主な掲載記事]

- ・四国新聞4月12日「懐かしのブリキおもちゃ紹介」
- ・香川こまちNo.131 4月20日
- ・読売新聞4月23日「時代映すおもちゃ」
- ・ナイスタウンNo.444 4月20日

[図録]

図録名：北原照久の超驚愕現代アートコレクション～驚く・あきれる・楽しめる!
 監修：北原照久
 発行：株式会社トイズプランニング
 仕様：25.7×18.3cm、56頁
 内容：ごあいさつ及びエッセイ「僕のコレクションの原点」＝北原照久/作家紹介、KITAHARA'S VOICE＝北原照久(紹介作家：与勇輝、荒木博志、鴨沢祐仁、木下雅雄、逆柱いみり、佐藤真人、新貝敦子、奈良美智、福本正、堀哲郎、松井えり菜、武藤政彦、毛利フジオ、柳生忠平、柳原良平、山口孝幸、山下信一、山下信夫、山本高樹、横尾忠則、石坂浩二、加山雄三、岡本博、金子辰也、芳賀澄子、木津文哉、小林健二、空山基、中本智絵、出口雄樹、三橋乙椰、むらいゆうこ、船水徳雄)



高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.04 リアルをめぐって

会期 2014年5月27日(火)～6月22日(日)
月曜日休館 24日間
主催 高松市美術館
後援 朝日新聞高松総局 NHK高松放送局 OHK岡山放送
産経新聞高松支局 山陽新聞社 RSK山陽放送 四国新聞社
KSB瀬戸内海放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送
毎日新聞高松支局 読売新聞高松総局
協賛 旭化成ワッカーシリコン株式会社 株式会社平泉洋行
入場料 一般800円 大学生500円 高校生以下無料
入場者数 2,035人
担当学芸員 牧野裕二

5回目の開催となるアニュアル(年に1回)形式による現代アートのグループ展「高松コンテンポラリーアート・アニュアル」の、今回のテーマは「リアル」。参加アーティストは、石黒浩(アンドロイド)、小沢裕子(映像)、大西伸明(立体)、橋爪彩(絵画)。美の地平を切りひらく気鋭のアーティストたちの競演を楽しむという企画内容。各アーティスト及び桂米團治氏らによるトークやワークショップのほか、同一テーマによる美術館コレクションによる展示「もうひとつのリアル」も同時開催した。
展示作品＝アニュアル展：43点 コレクション展：40点

[出品作家]

石黒 浩 ISHIGURO, Hiroshi

1963年滋賀県生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士課程修了。ヒューマノイドやアンドロイド、自身の風貌に酷似した遠隔操作型ロボットのジェミノイドなど、多数のロボットを開発。2010年「あいちトリエンナーレ」にて、アンドロイド演劇「さようなら」(脚本・演出：平田オリザ)を世界初上演。2012年、人間国宝の落語家、桂米朝をモデルにした「米朝アンドロイド」を発表。同年「アルスエレクトロニカ」(オーストリア)、「アノニマスライフ」(東京・ICC)に出品。

大西伸明 ONISHI, Nobuaki

1972年岡山県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科版画専攻修了。手のひらに乗る小さなものからテトラポットのような巨大なものまで、日常的な物体を樹脂で複製しアクリルで精巧に彩色したものを設置し、虚と実が交錯する特異な空間を作り上げる。主な個展に、2006年「Desktop,Dress,Gray」(国際芸術センター青森)、2008年「LOVERS LOVERS」(富山・発電所美術館)、2011年「untitled」(兵庫県立美術館)など。

小沢裕子 OZAWA, Yuko

1984年千葉県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。インターネットで見つけた見知らぬ人物の映像に字幕やアフレコをつけるなど、視覚や聴覚を巧みに操作し謎めいた世界を出現させる。主な展覧会に、2012年「ある小話／作家ドラフト2012」(京都芸術センター)、同年「それはあります、そして、唯一の私は世界ですか?」(東京・Art Center Ongoing)、2014年「sound mind sound body」(小金井アートスポット シャトー2F)など。

橋爪 彩 HASHIZUME, Sai

1980年東京都生まれ。東京芸術大学修士課程絵画専攻(油画)修了。女性の身体やハイヒールなどの題材を圧倒的な油彩技術によりリアルに描きだす。主な展覧会に、2009年所沢ビエンナーレ「引込線」(埼玉)、2012年「sometimes we can't choose where we die」(京都・イムラアートギャラリー)、2013年「未来を担う美術家たち DOMANI・明日展」(東京・国立新美術館)、2014年「ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉」(大阪・国立国際美術館)など。

[高松市美術館

コレクションから]

「もうひとつのリアル」

1. 現実とむきあう

バプロ・ピカソ、木村忠太、郭徳俊

2. 超写実の世界

チャック・クロース、上田薫、金昌烈、嶋剛、吉仲太造、佐藤正明、中川直人、三島喜美代、合田佐和子、森本洋充、岡田修二、須田悦弘

3. 現実と非現実のはざま

ゲルハルト・リヒター、高松次郎、杉本博司、名和晃平、岩崎貴宏、森村泰昌、赤瀬川原平、福田美蘭、西野達

[関連イベント]

アーティスト&アドバイザー・トーク I

5月31日(日)14:00～16:00

出演：大西伸明・橋爪彩(出品作家)、山口裕美(本展アドバイザー)

場所：講堂(聴講無料)

参加人数：55人

アーティスト&アドバイザー・トーク II

6月8日(日)14:00～16:00

出演：石黒浩・小沢裕子(出品作家)、木ノ下智恵子(本展アドバイザー)

場所：講堂(聴講無料)

参加人数：55人

橋爪彩 ワークショップ「写実絵画入門」☆
 大西伸明 ワークショップ「石膏型取り入門」☆
 桂米團治 落語ワークショップ☆
 小沢裕子 子どものアトリエ「アフレコされてみよう!」☆
 アートで遊ぼう!(子ども鑑賞プログラム)☆
 エントランス・ミニコンサート★
 ☆=教育普及の頁参照 ★=芸術的催物の頁参照

ギャラリートーク(2階展示室/観覧券要)
 当館学芸員による
 6月21日(土)14:00～
 参加人数:30人
 美術館ボランティアcivi(シヴィ)による
 会期中の日曜日(6月8日14:00を除く)
 11:00～、14:00～(計7回)
 参加人数:延106人

米朝アンドロイド&
 桂米團治スペシャル落語公演
 6月7日(日)14:00～15:30
 講師:出演:米朝アンドロイド・桂米團治(落語家)
 場所:2階展示室内(観覧券必要)
 参加人数:160人



橋爪彩展示



大西伸明展示



小沢裕子展示



小沢裕子展示



石黒浩展示



コレクション展示



アーティスト&
 アドバイザー・トークⅠ



アーティスト&
 アドバイザー・トークⅡ

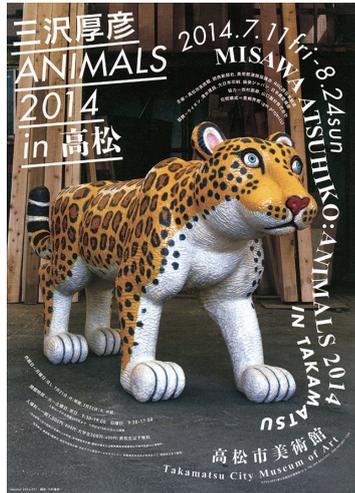
[主な掲載記事]

- ・月刊ギャラリー No.349 5月1日
- ・香川こまちNo.132 5月20日
- ・四国新聞5月27日「米朝節まで再現? 高松きょうからロボ公開」
- ・山陽新聞5月27日「米朝さんそっくり 高性能ロボット公開」
- ・読売新聞5月28日「リアル米朝さんロボット 高松で現代アート展」
- ・山陽新聞5月28日「米朝さんロボ“笑いを一席”」
- ・日本経済新聞5月31日 時流点描「米朝さんロボ、しぐさ再現」
- ・朝日新聞6月4日「アンドロイド米朝さん“親子”共演」
- ・四国新聞6月8日「“名人”の話芸 観客驚き 米朝アンドロイドが落語」
- ・朝日新聞6月8日「小咄一席「面白っ」」
- ・美術の窓 No.389 6月20日

[図録]

編集: 牧野裕二(高松市美術館)
 発行: 高松市美術館
 仕様: 【図録】29.6×19.9cm、48頁 【インスタレーションビュー】29.6×19.9cm、12頁
 内容: 【図録】ごあいさつ/図版(橋爪彩・大西伸明・小沢裕子・石黒浩、高松市美術館コレクション)/ステイトメント=橋爪彩「レッドシューズダイアリーの為のイントロダクション」、大西伸明、小沢裕子、石黒浩「米朝アンドロイドとは～人間国宝のアーカイブ～」、遠藤慎也「米朝アンドロイドのつくり方～15年前にタイムスリップして～」(石黒・遠藤共に「米寿記念 桂米朝展」(2012)図録より一部修正し採録)/作家略歴/出品リスト

【インスタレーションビュー】図版/関連イベント/はじめに/論考=「橋爪彩—カンヴァスのなかの密室劇」、「大西伸明—想像の入れ物」、「石黒浩—一人をつくる人」(牧野裕二)・「小沢裕子—二の文章を書きました。」(毛利義嗣)・「橋爪彩の魅力」、「大西伸明への手紙」(山口裕美)・「もう1つのリアル～新しい自己を、多様な他者を、想起するチカラ」(木ノ下智恵子)/作品リスト(大西伸明のみ)



三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 高松

会期 2014年7月11日(金)～8月24日(日)
 月曜日休館(7月21日開館、翌7月22日休館)39日間
 主催 高松市美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会 RNC西日本放送
 協賛 ライオン 清水建設 大日本印刷 損保ジャパン・日本興亜損保
 入場料 一般1,000円 大学生500円 高校生以下無料
 入場者数 14,342人
 担当学芸員 川西弘一

現代彫刻の世界で、最も注目を集めている作家の一人である三沢厚彦(1961～)。特に近年は動物をテーマとした木彫作品を精力的に発表し、若干40歳で平櫛田中賞を受賞するなど、その実力は高く評価されている。

本展は三沢の代表的な最新作により、彫刻家・三沢厚彦の楽しく、豊かな作品を紹介するもので、様々な動物たちが織り成す独創的な作品世界楽しんでもらった。

展示作品=60点

[関連イベント]

アーティストトーク(対談)

7月13日(日)14:00～15:30
 出演者:三沢厚彦×豊嶋秀樹(gm projects)
 場所:講堂(聴講無料)
 参加人数:110人

アーティストギャラリートーク 三沢厚彦(出品作家)による

(2階展示室/観覧券要)
 7月12日(土)、8月2日(土)、3日(日)、24日(日)
 各14:00～
 参加人数:延611人

ギャラリートーク(2階展示室/観覧券要) 当館学芸員による(計3回)

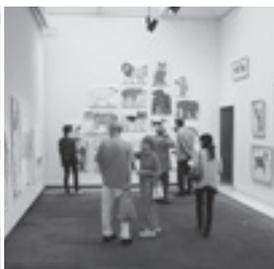
7月26日(土)14:00～、8月10日(日)11:00～、14:00～
 参加人数:延58人
美術館ボランティアcivi(シヴィ)による(計11回)
 会期中の毎日曜日および祝日11:00～、14:00～(但し、7月13日、8月3日、24日は11:00のみ)
 参加人数:延223人

ワークショップ「粘土で動物をつくろう」☆ アートで遊ぼう!☆

美術館の日☆
 スペシャルイベント「珍しい真夏の夜の夢」★
 クロージングライブ★
 ミュージアム・ミニコンサート★
 ☆=教育普及の頁参照 ★=芸術的催物の頁参照



会場



会場



アーティストギャラリートーク



アーティストトーク

[主な掲載記事]

- ・香川こまち133号 6月20日
- ・読売新聞7月9日「三沢さん動物木彫 陳列進む」
- ・読売新聞7月10日「動物の素の表情迫る」
- ・読売新聞7月12日「木彫動物お出迎え」
- ・読売新聞7月13日「動物の群れの一員に」
- ・読売新聞7月18日「複雑な姿 寄木造りで」
 川西弘一(高松市美術館学芸員)

- ・芸術新潮No.775 7月25日
- ・読売新聞7月26日「今にも踏み出す一角獣」
 川西弘一(高松市美術館学芸員)
- ・読売新聞8月17日「空間構成も見どころ豊富」
 川西弘一(高松市美術館学芸員)
- ・美術の窓No.391 8月20日
- ・芸術新潮No.776 8月25日

[インスタレーション ビュー]

編集:川西弘一(高松市美術館)・濱淵真弓(岩手県立美術館)
 発行:高松市美術館、公益財団法人岩手県文化振興事業団 読売新聞社、美術館連絡協議会
 仕様:21×14.8cm、30頁
 内容:ごあいさつ/エッセイ「ANIMALS」=三沢厚彦/エッセイ「出会いのメソドロジー」=豊嶋秀樹(gm projects)/作品図版/略歴



エヴァンゲリオン展

会期 2014年10月10日(金)～11月24日(月・祝)
 月曜日休館(10月13日・11月3日・11月24日開館、10月14日・11月4日休館) 40日間

主催 高松市美術館 朝日新聞社

後援 NHK高松放送局 OHK岡山放送 産経新聞高松支局 山陽新聞社
 RSK山陽放送 四国新聞社 KSB瀬戸内海放送
 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 毎日新聞高松支局

監修 庵野秀明 カラー

協賛 サンエムカラー

アート
 ディレクション 祖父江慎

協力 香川大学

入場料 一般1,000円 大学生500円 高校生以下無料

入場者数 17,103人

担当学芸員 三宅靖之

大ヒットアニメ「エヴァンゲリオン」の魅力を解き明かす初めてとなる本格的な作品展。本展は、総監督の庵野秀明および製作会社カラーの監修により、「新劇場版」シリーズ最新作『Q』を含む貴重な生原画や設定資料約300点を初公開するほか、画コンテやレイアウト、原画や動画など1000点を超える膨大な資料で最先端の映像から生み出される過程を紹介するとともに、テレビシリーズのセル画や貞本義行が描いた漫画の複製原稿などにより、エヴァ作品の誕生から現在までの歴史を4部構成によりひもといいた。

展示作品=約1,300点

巡回会場=東京・松屋銀座、北九州市漫画ミュージアム、新潟市マンガ・アニメ情報館、名古屋・松坂屋美術館、大阪・阪急うめだギャラリー、横浜・そごう美術館、高松市美術館、山口・宇部市ときわ湖水ホール、熊本県立美術館本館

[関連イベント]

記念講演会「エヴァンゲリオン展の見どころ」

11月2日(日)13:30～15:00
 講師：氷川竜介(アニメ特撮研究者)
 場所：講堂(聴講無料)
 参加人数：131人

ワークショップ

「メタモルフォーゼなアニメーションを作ろう!」☆
 エントランス・ミニコンサート★
 ☆=教育普及の頁参照 ★=芸術的催物の頁参照

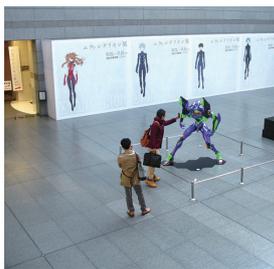
ジオラマ公募作品展

「エヴァンゲリオンの世界」

10月10日(金)～11月24日(月・祝)
 場所：美術館中2階
 入場料：無料



会場



エントランス



記念講演会



ジオラマ展

[主な掲載記事]

・香川こまちNo.137 10月20日
 ・あわわNo.30(通巻403号)10月25日

・ナイスタウンNo.450 10月20日
 ・芸術新潮No.779 11月25日

[図録]

監修：庵野秀明、カラー
 編集：朝日新聞社文化事業部
 解説執筆：氷川竜介
 アートディレクション：祖父江慎
 発行：朝日新聞社

仕様：35.5×25.5cm、192頁

内容：ごあいさつ／はじめに＝庵野秀明／01 リアルスケールギャラリー／02 原画で観る「エヴァンゲリオン新劇場版」／03 エヴァンゲリオンの設定／04 エヴァンゲリオンができるまで／05 エヴァンゲリオンの歴史

(2)常設展

第1期常設展

会期：2014年4月5日(土)～6月8日(日)

月曜日休館 56日間

企画担当およびギャラリートーク(5月10日(土)14:00～)牧野裕二

入場者数 3,062人

展示室1

ある風景の中で—新収蔵品とともに—

In a Landscape—with New Acquisitions

「風景」をテーマに、おもに1990・2000年代に制作された17作家による作品22点をご紹介します。

[出品リスト]

No.	作家名	作品名	制作年	材質
1.	伊藤 存	森	2006	毛糸、刺繍糸、布
2.	押江千衣子	ツツク	1997	油彩、オイルパステル、カンヴァス
3.	桑久保 徹	女たちと白い箱	2008	油彩、カンヴァス
4.	小林孝亘	Forest	2001	油彩、カンヴァス
5.	曾谷朝絵	バスタブno.15	2001	油彩、綿布貼りパネル
6.	奈良美智	Milky Lake	2001	アクリル、リネン
7.	風能奈々	花の瘡蓋	2008	アクリル、染料ジェッツ、カンヴァス
8.	丸山直文	bees&wind	2006	アクリル、綿布
9.	村上 隆	Red Rope	2001	アクリル、カンヴァス、板
10.	村上 隆	卍富士	2001	ゼロックスプリント(オフセット)、紙
11.	村上 隆	となりのケロタン	2001	ゼロックスプリント(オフセット)、紙
12.	村上 隆	7272727	2001	ゼロックスプリント(オフセット)、紙
13.	村瀬恭子	Stage	2010	油彩、色鉛筆、綿布
14.	小川信治	恋文	2006	油彩、麻布
15.	加藤 泉	無題	2008	油彩、麻布
16.	できやよい	カップリ	2003	紙にアクリル絵具、パネル
17.	天明屋 尚	現代日本若衆絵図 鎌倉 九人の侍	2001	アクリル絵具、木
18.	天明屋 尚	現代日本若衆絵図 パラパラ(大日本帝国)対 ブレイクダンス(亜米利加)	2001	アクリル絵具、木
19.	キース・ヘリング	Statue of Liberty(自由の女神)	1986	シルクスクリーン・紙
20.	ヤノベケンジ	ミニ・アトムスーツ	2003-13	ガイガー・カウンター、プラスチック、他
21.	ヤノベケンジ	ガイガーチェック：ワールドワイド No.5	1998	ガイガー・カウンター、スーツケース、時計、 世界地図、他
22.	山口 晃	大山崎交通乃圖	2008	紙にペン、水彩

展示室2

讃岐漆芸—テーマとヴァリエーション—

Sanuki Lacquer Art—Theme and Variation

玉椿象谷「忘貝香合」と石井馨堂、鎌田稼堂らによるその模刻やオマージュ作品を中心に、磯井如真、磯井正美、太田儔ら、あわせて9作家による30点の作品により、讃岐漆芸にみるテーマとヴァリエーションの諸相をご紹介します。

[出品リスト]

No. 作家名/作品名/制作年/テーマ/材質はすべて漆

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 玉椿象谷/狹貴彫堆黒 松ヶ浦香合(松) / 1851 / 忘れ貝 | 16. 磯井如真/蒔髹 干菓子盆 亀鶴松竹梅之図 / 1963 / 松竹梅 |
| 2. 玉椿象谷/狹貴彫堆黒 松ヶ浦香合(は) / 1851 / 忘れ貝 | 17. 磯井如真/蒔髹 干菓子盆 梅之図 / 1948 頃 / 梅 |
| 3. 玉椿象谷/狹貴彫堆黒 松ヶ浦香合(天) / 1851 / 忘れ貝 | 18. 磯井如真/蒔髹 茶入 竹林 / 竹 |
| 4. 藤川黒斎/堆黒忘貝香合 / 忘れ貝 | 19. 磯井如真/蒔髹 香盆 密竹之図 / 1955 頃 / 竹 |
| 5. 石井馨堂/狹貴彫 堆黒忘貝香合 / 忘れ貝 | 20. 磯井正美/蒔髹 紫水指 / 1990 / 蝶 |
| 6. 鎌田稼堂/堆黒 松ヶ浦 香合 / 忘れ貝 | 21. 磯井正美/蒔髹 つばき文箱 / 1994 / 蝶 |
| 7. 高橋皖山/模製 象谷翁作 忘貝図 堆黒香合 / 忘れ貝 | 22. 磯井正美/蒔髹 梅花吸蜜箱 / 2003 / 蝶 |
| 8. 音丸耕堂/堆朱 さぬきふし 香合 / 1929 / 忘れ貝 | 23. 磯井正美/蒔髹 月あかり食籠 / 1973 / 月 |
| 9. 磯井如真/蜻蛉之圖 香盆 / 1937 / 群舞 | 24. 磯井正美/蒔髹 櫻花月彩盆 / 2000 / 月 |
| 10. 磯井如真/堆朱香盆 豊熟 / 1941 頃 / 群舞 | 25. 太田儔/蒔髹 食籠 竹林之図 / 1971 / 竹 |
| 11. 磯井如真/堆朱 雲鶴香盆 / 1943 頃 / 群舞 | 26. 太田儔/藍胎蒔髹 文箱 竹林 / 1973 / 竹 |
| 12. 磯井如真/堆黒香盆 秋趣競味 / 1940 / 野菜 | 27. 太田儔/藍胎蒔髹 双短冊箱 豊寿喜の圖 / 1992 / ほおずき |
| 13. 磯井如真/堆黒香盆 山野競味 / 1942 / 野菜 | 28. 太田儔/藍胎蒔髹 双色紙箱 豊寿喜 / 1992 / ほおずき |
| 14. 磯井如真/彫漆 香合 菜花之図 / 1940 頃 / 野菜 | 29. 太田儔/藍胎蒔髹 波の棚 / 1979 / 波 |
| 15. 磯井如真/宝玉笋筍 / 1947 / 松竹梅 | 30. 太田儔/藍胎箱 波文 / 1989 / 波 |

第2 期常設展

会期：2014年6月14日(土)～8月17日(日)

月曜日休館(7月21日開館、翌7月22日休館) 56日間

企画担当及びギャラリートーク(8月9日(土)14:00～)川西弘一

入場者数 6,143人

展示室1

現代のユーモア

Humor in Contemporary Art

戦後日本の現代美術から、ユーモアの要素色濃く感じさせる14作家による25点の作品を紹介しました。

[出品リスト]

No.	作家名	作品名	制作年	材質
1.	巖 嘸	アダムとイヴ	1967	油彩・麻布
2.	巖 嘸	Good bye Monsieur GAUGIN	1973	シルクスクリーン・紙
3.	池田龍雄	シリーズ化物の系譜－ショーバイ(II)	1955	インク・画用紙
4.	池田龍雄	シリーズ化物の系譜－出勤	1956	インク・画用紙
5.	池田龍雄	シリーズ禽獣記－覇鳥	1957	インク・画用紙
6.	池田龍雄	シリーズ禽獣記－パーティ	1958	インク・画用紙
7.	池田龍雄	シリーズ虫類図譜－あや虫		インク・画用紙
8.	及川正通	ガリガリ博士の犯罪	1969	シルクスクリーン・紙
9.	及川正通	書を捨てよ!町へ出よう!	1969	シルクスクリーン・紙
10.	岡本信治郎	大停電－ジム・ダインの肖像	1972	油彩・麻布
11.	桂 ゆき	鼻	1967	コラージュ、油彩・麻布
12.	小島信明	Cut Out2, Cut Out3	1967	ラッカー・板
13.	斎藤義重	ハンガー	1967	ラッカー・合板レリーフ
14.	斎藤義重	クレーン	1968	シルクスクリーン・紙
15.	斎藤義重	ペンチ	1968	シルクスクリーン・紙
16.	篠原有司男	女の祭り	1969	シルクスクリーン・紙
17.	菅井 汲	無題	1954	油彩・麻布
18.	菅井 汲	赤い鬼(悪魔)	1955	リトグラフ・紙
19.	立石大河亞	はじめに革命あり	1970	油彩・麻布
20.	立石大河亞	車内富士	1992	油彩・麻布
21.	谷川晃一	炎の標的	1965	グワッシュ・紙
22.	平賀 敬	三枚のハートのカード	1980	油彩・麻布
23.	堀内正和	人差指	1966	ブロンズ
24.	堀内正和	正六面体のなかの円錐のなかのトルソ	1967	ブロンズ
25.	村井正誠	子供	1965	油彩・麻布

展示室2

彫りの系譜

On Genealogy of the Choshitsu Technique

様々な様相をみせながら展開した讃岐漆芸の彫りの系譜を、9作家、32点の作品で紹介しました。

[出品リスト]

No. 作家名/作品名/制作年/材質はすべて漆

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 石井馨堂/堆朱蜀葵山鶴図香盆/1910頃 | 17. 佐々竹僊/狹貫彫 堆黒香盆 烏之図/1947 |
| 2. 石井馨堂/狹貫彫 堆朱料紙文庫 玉堂富貴之図/1927 | 18. 高橋皖山/菜果並福寿之図 堆朱香炉盆/1920 |
| 3. 石井馨堂/紅花緑葉香盆 水草虫之図/1928 | 19. 高橋皖山/荷葉紅魚 野菜類之図 堆朱肉池 |
| 4. 石井馨堂/狹貫彫 堆朱堆黒硯屏 晋七賢之図/1932 | 20. 高橋皖山/風月三昆 福祿壽図 紅華緑葉香合/1919 |
| 5. 石井馨堂/俱利料紙文庫 | 21. 谷沢不二松/草花文 彫漆香盆/1933 |
| 6. 石井馨堂/俱利硯箱 | 22. 谷沢不二松/水葵之図 彫漆香盆/1938 |
| 7. 音丸耕堂/堆朱板文庫 昆虫之図/1928 | 23. 谷沢不二松/金魚文 彫漆鉢/1938 |
| 8. 音丸耕堂/彫漆椿文手箱/1943 | 24. 玉椿象谷/堆朱 御筆簞笥/1851 |
| 9. 音丸耕堂/堆朱南瓜文色紙箱/1949 | 25. 玉椿象谷/堆朱紅葵饌合/1852 |
| 10. 音丸耕堂/彫漆水葵小屏風/1949 | 26. 玉椿象谷/讃岐彫堆朱 手向山香盒/1852 |
| 11. 音丸耕堂/彫漆草花文 八陵菓子器/1957 | 27. 玉椿象谷/堆黒張成香合 |
| 12. 鎌田稼堂/堆朱菱盆/1941～45 | 28. 玉椿象谷/堆黒香合 |
| 13. 鎌田稼堂/堆朱月茶入盒 | 29. 玉椿雪堂/堆朱香盒 |
| 14. 鎌田稼堂/堆黒 旭海老香盒 | 30. 玉椿蔵谷/堆黒香合/明治後期 |
| 15. 鎌田稼堂/堆黄香盒 | 31. 玉椿蔵谷/堆朱香合 |
| 16. 佐々竹僊/狹貫彫 堆漆 香盆 花物之図/1943 | 32. (参考出品)/堆朱四角 牡丹唐鳥 盆/元末～明初 |

第3期常設展

会期：2014年8月23日(土)～10月19日(日)

月曜日休館 50日間

展示室1企画及びギャラリートーク(9月6日(土)14:00～)篠原資明

展示室2企画担当 牧野裕二

入場者数 2,839人

「西山美なコ子どものアトリエ」☆、「西山美なコワークショップ&トーク」☆

☆=教育普及の頁参照

展示室1

うつろいーアートディレクター篠原資明キュレーションによるー Changing : curated by Motoaki Shinohara

篠原資明当館アートディレクターのキュレーションにより、「うつろい」をテーマに、戦後日本の現代作家11人による作品16点を紹介しました。

[出品リスト]

No.	作家名	作品名	制作年	材質
1.	河口龍夫	陸と海	1970/83	ゼラチンシルヴァープリント
2.	河原 温	Nov.18,1987	1987	アクリル・麻布
3.	高松次郎	影の圧搾	1965	ラッカー・麻布
4.	高松次郎	No.190	1967	ラッカー・板・フック
5.	高松次郎	No.371	1972	ラッカー・パネル
6.	田嶋悦子	cornucopia 99- I	1999	陶・ガラス
7.	田嶋悦子	cornucopia 99- X I	1999	陶・ガラス
8.	多田美波	機(Ki)	1985	ステンレス
9.	西山美なコ	Untitled	2007-8	MDFボードにアクリルウレタン塗装・アクリル絵具
10.	西山美なコ	Untitled	2007-8	MDFボードにアクリルウレタン塗装・アクリル絵具
11.	西山美なコ	Untitled	2007-8	MDFボードにアクリルウレタン塗装・アクリル絵具
12.	野村 仁	ドライアイス	1969/2006	写真
13.	藤本由紀夫	EARS WITH CHAIR(on the wall)	1990/1993	ミクストメディア
14.	宮永愛子	ポストー景色	2010	パリで見つけたポスト、樹脂、ナフタリン
15.	森 万理子	エントロピー・オブ・ラヴ	1996	チバクロームプリント・木材・アルミ材・フォーマイカ枠
16.	柳原睦夫	積木の空ー〈I〉	1981	信楽土・紐づくり

展示室2

海と水辺の風景 Landscapes of Sea and Waterfront

海と水辺の風景を題材にした讃岐漆芸作品27点(13作家)をご紹介します。

[出品リスト]

No. 作家名/作品名/制作年/材質はすべて漆

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 玉椿雪堂/喰籠/1859 | 15. 明石朴景/雕漆 菖蒲華紋筐/1952 |
| 2. 鎌田稼堂/堆黒 蘆蟹 香合/1947 | 16. 磯井正美/蒔醬月あかり食籠/1973 |
| 3. 鎌田稼堂/堆黒葦蟹 香合 | 17. 磯井正美/蒔醬存清 備讃瀬戸 箱/1982 |
| 4. 鎌田稼堂/堆黒肉池 | 18. 太田 儔/監胎蒔醬 双色紙箱 潮騒/1991 |
| 5. 鎌田稼堂/堆黒地紅海老 香合 | 19. 太田 儔/監胎蒔醬 盛器 チェリーボート/1998 |
| 6. 鎌田稼堂/堆黒地紅 香合 | 20. 太田 儔/監胎蒔醬箱 赤い貝殻/2002 |
| 7. 磯井如真/堆黒香合 海幸之圖/1941頃 | 21. 太田加津子/監胎蒔醬 盛器 波文/1986 |
| 8. 磯井如真/乾漆 蒔醬水指 瀬戸内海之圖/1949 | 22. 佐々木文夫/監胎 蒔醬 盛器/1982 |
| 9. 音丸耕堂/彫漆菓子盆/1932 | 23. 西岡春雪/繩胎朱塗 食籠/2001 |
| 10. 音丸耕堂/彫漆双鯨之圖料紙箱/1934 | 24. 山下義人/清海文箱 遥/1978 |
| 11. 音丸耕堂/彫漆水仙手箱/1975 | 25. 山下義人/蒔醬色紙箱 波がさね/1988 |
| 12. 音丸耕堂/彫漆宵待草 水指/1990 | 26. 北岡省三/彫漆短冊箱 碧麗/1995 |
| 13. 音丸耕堂/木彫香盒 蛙/1947-53 | 27. 藤田正堂/彫漆蒔醬流文盛器/2002 |
| 14. 音丸耕堂/彫漆餘事/1947-53 | |

第4期常設展

会期：2014年10月25日(土)～12月27日(日)

月曜日休館(11月3日・24日開館、11月4日・25日休館) 55日間

企画担当及びギャラリートーク(11月1日(土)14:00～) 牧野裕二

入場者数 3,234人

第4回日仏自治体交流会議開催記念 映像作品「水のころろ」上映会★

★=芸術的催物の頁参照

展示室1

美のパッセージー 20世紀フランス美術と日本ー

Passage : French and Japanese Art in 20th Century

「第4回日仏自治体交流会議」(10月28～30日、於高松市)の開催を記念し、20世紀のフランスで活躍したピカソ、マティス、デュシャン、エルンストラによる版画作品と、フランスと関わりのある藤川勇造、猪熊弦一郎、木村忠太、岡本太郎ら日本人作家による絵画作品の数々、あわせて20作家による37点を紹介しました。

[出品リスト]

No.	作家名	作品名	制作年	材質
1.	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904	エッチング・紙
2.	パブロ・ピカソ	コンポートのある静物	1909	ドライポイント・紙
3.	ジョルジュ・ブラック	コンポジション(静物I)	1911	エッチング・紙
4.	ジョルジュ・ブラック	パル(テーブルの上のバスの瓶とコップ)	1911	エッチング・紙
5.	ジョルジュ・ブラック	キュビスムの静物	1912	エッチング・紙
6.	アンリ・マティス	横たわるオダリスクと果物鉢	1925	リトグラフ・紙
7.	マルセル・デュシャン、 ジャック・ヴィヨン	花嫁：マルセル・デュシャン 『花嫁』(1912)による	1934	アクワチント・紙
8.	マルセル・デュシャン	階段を降りる裸婦No.2	1937	複製・鉛筆・紙
9.	マルセル・デュシャン	トランクの中の箱	1941	ミクストメディア
10.	マルセル・デュシャン	L.H.O.O.Q	1964	複製・鉛筆
11.	マルセル・デュシャン	ひげをそったL.H.O.O.Q	1965	カラーエッチング・和紙
12.	マルセル・デュシャン	エッチングシリーズ：《大ガラス》	1955	エッチング・カラーエッチング・和紙
13.	マルセル・デュシャン	マルセル・デュシャン特製版カタログ	1991	紙、他
14.	マン・レイ	ほこりの培養	1920	写真
15.	アンドレ・ブルトン	切り裂きジャック	1942	ミクストメディア・コラージュ
16.	マックス・エルンスト	博物誌	1926	コロタイプ・紙
17.	イヴ・タンギー	棒占い	1947	エッチング・彩色モノタイプ・紙
18.	ジャン・デュビュッフェ	遊びと仕事	1953	リトグラフ・紙
19.	藤川勇造	海鳥を射る	1932	ブロンズ
20.	藤川勇造	腰かける裸女	1932	ブロンズ
21.	藤川勇造	鴨	1933	ブロンズ
22.	猪熊弦一郎	鳥と少女	1939	油彩・麻布
23.	猪熊弦一郎	ジプシーの子供達	1939～40	油彩・麻布
24.	猪熊弦一郎	緑陰	1946	油彩・麻布
25.	猪熊弦一郎	赤い服と猫	1949	油彩・麻布
26.	木村忠太	サン・ニコラ・デ・シャン寺院	1954	油彩・麻布
27.	木村忠太	パリの郊外風景	1956	油彩・麻布
28.	木村忠太	村の道	1965	油彩・麻布
29.	木村忠太	いつも通る道	1979	油彩・麻布
30.	瀧口修造	作品	1960～72	インク・紙他
31.	岡本太郎	生成	1961	油彩・麻布
32.	大辻清司	ミッシェル・タピエと瀧口修造 (《eyewitness》より)	1955-70	モノクロプリント
33.	大辻清司	ジョルジュ・マチウと岡本太郎 (《eyewitness》より)	1955-70	モノクロプリント
34.	今井俊満	夜の賛歌	1956	油彩・麻布
35.	菅井 汲	雲	1959	油彩・麻布
36.	田淵安一	女の門	1962	油彩・麻布
37.	森村泰昌	だぶらかし	1988	カラー写真

讃岐漆芸—始まりから現代まで— The History of Sanuki Lacquer Art

讃岐漆芸の祖である玉緒象谷から現在活躍する人間国宝に至る讃岐漆芸の系譜を、所蔵品から選りすぐった25作家の作品33点により紹介しました。

[出品リスト]

No. 作家名/作品名/制作年/材質はすべて漆

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 玉緒象谷/讃岐彫堆黒 松ヶ浦香合(隠し文字：松)/1851 | 18. 谷澤不二松/金魚文 彫漆鉢/1938 |
| 2. 玉緒象谷/讃岐彫堆黒 松ヶ浦香合(隠し文字：は)/1851 | 19. 香川宗石/讃岐漆 存清花蝶紋 色紙箱/1965頃 |
| 3. 玉緒象谷/讃岐彫堆黒 松ヶ浦香合(隠し文字：天)/1851 | 20. 音丸耕堂/彫漆月之花 手箱/1942 |
| 4. 玉緒象谷/堆朱 御筆築篋/1851 | 21. 音丸耕堂/彫漆八仙花 香合 |
| 5. 玉緒象谷/彩色蒟醬 水指棚/1853 | 22. 岡田章人/蒟醬雪柳之圖手篋/1947 |
| 6. 玉緒雪堂/蒟醬文庫 | 23. 明石朴景/春秋麗日/1979 |
| 7. 玉緒蔵谷/堆黒香合/明治後期 | 24. 真子実也/乾漆 鳥の精/1974 |
| 8. 藤川黒斎(文綺堂)/存清花文鞍 | 25. 磯井正美/蒟醬 清明 盛器/1988 |
| 9. 藤川蘭斎(文綺堂)/存清 饌盒/1890 | 26. 磯井正美/蒟醬 むらさき 箱/1990 |
| 10. 藤川秋郊(文賞堂)/藍胎紅地堆黒 菊花硯箱/1895 | 27. 太田 儔/藍胎蒟醬 短冊箱 夏ぐみ/1996 |
| 11. 石井馨堂/堆朱蜀葵山鶴圖香盆/1910頃 | 28. 太田 儔/藍胎蒟醬 茶箱 春風/1998 |
| 12. 高橋皖山/風月三昆 福祿壽圖 紅華緑葉香合/1919 | 29. 太田加津子/藍胎蒟醬 盛器 草花文/1983 |
| 13. 佐々竹僊/狭貫彫堆漆 香盆 花物之圖/1943 | 30. 山下義人/蒟醬箱 山笑う/2011 |
| 14. 鎌田稼堂/堆朱月茶入盒 | 31. 北岡省三/堆漆小箱「緑風」/1995 |
| 15. 森 象堂/堆黄松葉花瓶 | 32. 大谷早人/藍胎蒟醬 文箱/1989 |
| 16. 磯井如真/乾漆 花瓶/1937 | 33. 藤田正堂/彫漆蒟醬 蓋物 律/2012 |
| 17. 磯井如真/蒟醬 筆篋 銀葉アカシヤ之図/1957 | |

2. 教育普及

[ワークショップ]

場所：記載のないものは講座室

みんなで作ろう！ツクモ神！

使い古した日用品に絵具などで感謝の意味を込めてツクモ神を描いた。特別展「北原照久コレクション 時代を映すおもちゃ展」関連。

5月11日(日) 9:30～12:00

講師：柳生忠平(絵描鬼)

受講料：500円

対象：小学生以上

参加人数：16人



写実絵画入門

写実絵画の基本を学ぶため、鉛筆によるリンゴのデッサンを行った。特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.04」関連。

6月1日(日)9:30～12:30

講師：橋爪彩(美術家)

受講料：500円(材料費100円)

対象：小学4年生～大人

参加人数：16人



石膏型取り入門

石膏を水風船に流し込み、上から押し下り、握ったりしてできる不思議な形のオブジェを制作した。特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.04」関連。

6月1日(日)14:00～17:00

講師：大西伸明(美術家)

受講料：500円(材料費500円)

対象：小学生～大人

参加人数：15人



桂米團治落語ワークショップ

父・桂米朝に師事し、現代上方落語をリードする桂米團治氏を講師に迎え、落語にみる「リアルなしぐさ」を体験した。特別展「高松コンテンポラリーアート・アニユアルvol.04」関連。

6月7日(土)11:00～12:30

講師：桂米團治

場所：講堂

受講料：500円

対象：小学4年生～大人

参加人数：108人



粘土で動物をつくろう

粘土で生き物を自由に制作。完成した作品は焼成して参加者へ渡した。特別展「三沢厚彦 ANIMALS in 高松2014」関連。

8月2日(土)10:00～16:00

講師：三沢厚彦(彫刻家)

受講料：500円(材料費200円)

対象：小学生以上

参加人数：19人



メタモルフォーゼなアニメーションを作ろう！

参加者にキャラクターを描いてもらい、その描いたキャラクターの原画を他の人にリレーしてつなげることで、しだいに変化するアニメーションを作品を制作。特別展「エヴァンゲリオン展」関連。

10月12日(日)9:30～12:30

講師：眞鍋量臣(穴吹デザインカレッジ講師)

受講料：500円(材料費300円)

対象：小学5年生～中学生

参加人数：6人



西山美なワークショップ&トーク

紙にアクリル絵具で絵を描き、ハサミで切り取って白い壁や紙に置くことで「光と色彩の効果」を楽しんだ。トークでは西山氏のこれまでの活動や作品制作の経緯などを話していただいた。第3期常設展関連。

10月18日(土)13:30～16:00
 講師：西山美なコ(美術家)
 トーク聞き手：篠原資明(当館アートディレクター)
 場所：1階喫茶室
 受講料：500円
 対象：中学生～大人
 参加人数：26人



[子どものアトリエ]

場所：記載のないものは講座室

アフレコされてみよう！

アフレコの手法を使い、子どもたちによるナレーション映像に大人がアフレコをした。特別展「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.04」関連。

6月8日(日)9:30～12:00
 講師：小沢裕子(美術家)
 受講料：500円
 対象：小学生～中学生
 参加人数：12人



西山美なコ子どものアトリエ

アクリル絵具で絵を描き、ハサミで切り取って白い壁や紙に置くことで「光と色彩の効果」を楽しんだ。第3期常設展関連。

10月18日(土)10:30～12:00
 講師：西山美なコ(美術家)
 受講料：500円
 対象：小学生
 参加人数：12人



毛糸でクリスマス★アート！

あきやま氏が描いた絵をスライドで壁に貼った大きな紙に映し、上から毛糸を貼り付けて絵を完成させた。その後、美術館スタッフやボランティアによるクリスマスにちなんだ影絵劇も鑑賞した。

12月21日(日)9:30～12:30
 講師：あきやましんご(美術家)
 受講料：500円
 対象：未就学児～小学生(未就学児は保護者同伴)
 参加人数：25人



[アートで遊ぼう！]

鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム。ゲームや遊びを取り入れながら、当館学芸員とともに美術作品を鑑賞した。

毎回9:30～11:00 / 対象：小学3～6年生



展覧会名	開催月日	講師	参加者数
高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.04	6月21日(土)	牧野裕二	2人
三沢厚彦展	7月26日(土)	川西弘一	5人
第3期常設展	8月23日(金)	牧野裕二	3人

[美術館学習]

サンクリスタル学習参加校のうちで、午後より引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ(サンクリスタル高松-美術館間の交通費を負担)、作品鑑賞や施設見学、彫刻探検などの活動を行った。

期間：5月2日～12月17日

参加校：18校

参加人数：延1,218人

[美術館の日]

美術館の開館記念日(8月6日)に近い8月第1土曜日を「美術館の日」と制定し、展覧会の観覧料を無料にしたほか、工作を用意した「ふらっとアート」やポスター無料配布など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催。
8月2日(土)
参加人数：特別展観覧者2,910人、ふらっとアート311人

[博物館実習]

期間：7月29日～8月3日
実習内容：概要説明・施設見学、美術館と作品収集(講義)、解説ボランティア活動・教育普及(講義)、資料の保管と管理・二次資料の保管(講義)、作品取扱い実習、ワークショップ補助実習、展示見学・他館見学
実習生数：3人(成安造形大学1人、大阪成蹊大学1人、高知大学1人)

[ボランティア]

美術館ボランティアcivi(シヴィ)

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術作品解説ボランティアcivi(シヴィ)を設置し、平成11年度から活動を行っている。特別展のギャラリートークのほか「しびのーと」の発行(年2回)、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。登録人数=21人

ギャラリートーク

原則として、特別展会期中の日曜日・祝日の11:00～、14:00～
延37回623人(「エヴァンゲリオン展」を除く3展の特別展において)

ギャラリートーク及び定例会(原則毎月第1土曜日)以外の活動

2014年

- 5月 1日 しびのーと28号発行
- 5月11日 ワークショップ「みんなで作ろう!ツクモ神!」(講師：柳生忠平)アシスタント
- 6月 1日 ワークショップ「写実絵画入門」(講師：橋爪彩)アシスタント
ワークショップ「石膏型取り入門」(講師：大西伸明)アシスタント
- 6月 8日 子どものアトリエ「アフレコされてみよう!」(講師：小沢裕子)アシスタント
- 8月 2日 ワークショップ「粘土で動物をつくろう」(講師：三沢厚彦)アシスタント
美術館の日ワークショップ「ふらっとアート」アシスタント
- 8月 9日 ボランティア定例会にて篠原アートディレクターの話を聞くⅠ(生い立ち、研究、詩作等について)
- 9月 6日 第3期常設展ギャラリートーク(担当：篠原資明アートディレクター)参加
ボランティア定例会にて篠原アートディレクターの話を聞くⅡ(日本の現代美術作家について)
- 10月 1日 しびのーと29号発行
- 10月18日 子どものアトリエ(講師：西山美なコ)アシスタント
- 11月14・21・28 生涯学習カレッジ「アートで心も体もリフレッシュ!」(講師：高松市美術館 牧野裕二)アシスタント
- 12月21日 子どものアトリエ「毛糸でクリスマス★アート!」(講師：あきやましんご)アシスタント
- 12月 6日 消しゴムハンコ研修(講師：高松市美術館 今井真衣子)

2015年

- 1月17日 高松市塩江美術館 特別展「現代子 大木裕之展」鑑賞及び大木氏ギャラリートーク参加
- 2月20日 第5回香川県児童館職員研修会(講師：高松市美術館 牧野裕二)アシスタント
- 3月 9日 高松市塩江美術館 特別展「図と地図の温度」鑑賞及び千葉尚実・HANNA氏ギャラリートーク参加



しびのーと28号



しびのーと29号

[美術図書室]

月別利用者数		
年月	入場者数(人)	開館日数(日)
H26.4月	202	26
5月	221	27
6月	198	25
7月	268	27
8月	528	27
9月	241	25
10月	198	27
11月	277	26
12月	80	24
H27.1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	2,213	234

書籍

区分	購入	寄贈	合計
図書	10	24	34
雑誌	52	72	124
逐次刊行物	0	254	254
図録	0	360	360
合計	62	710	772

3. 芸術的催物

[特別展関連事業]

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った音楽イベントを開催した。

**「三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 高松」 関連
スペシャルイベント「珍しい真夏の夜の夢」**

展覧会のスペシャルイベント第1弾として、音楽ライブパフォーマンスを開催。エントランスを舞台に、三沢氏の彫刻作品の間を自在に駆け巡るダイナミックなダンスを披露した。最後には出演者と観客と一緒に歌とダンスをして締めくくった。

7月11日(金)、12日(土)両日とも19:30～20:30(開場19:15)

出演：珍しいキノコ舞踊団、ゴゴリッモゴリッ

場所：エントランスホール

入場料：一般1,000円(800円) 大学生以下500円(400円) ※ ()は前売料金

参加人数：延143人



クロージングライブ

展覧会のスペシャルイベント第2弾では、ギターと歌による音楽ライブを開催した。

8月24日(日)19:00～20:30(開場18:30)

出演：高田漣、Takuji

場所：エントランスホール

入場料：一般1,500円(1,300円) 大学生以下500円(400円) ※ ()は前売料金

参加人数：79人



[常設展関連事業]

第4期常設展

美のパサージュー 20世紀フランス美術と日本ー関連企画映像作品「水のころ」上映会

展「第4回日仏自治体交流会議」開催を記念し、仏・トゥール美術館が制作した映像作品を上映。

10月25日(土)～11月1日(土)

場所：1階講堂(入場無料)

[ミニコンサート]

特別展ごとに、展覧会内容に関連する演奏プログラムを企画し、県内演奏家によるミニコンサートを開催。

場所：エントランスホール、講堂

進行：翠さやか(高松市美術館)

**「北原照久コレクション 現代アートと時代を映すおもちゃ展」 関連
「こどもとたのしむ音楽のおもちゃ箱」**

展覧会にちなみ、「おもちゃ」にまつわる曲を集めた。「星に願いを」や「鉄腕アトム」、「おもちゃのシンフォニー」など、大人から子どもまで親しめるクラシックとポピュラー音楽を演奏。

5月3日(土)13:30～14:00

演奏者：中田恵美・大久保かおり・岩田えりか(クラリネット)、見垣佑介(ファゴット)、山田裕士・吉原千裕(トロンボーン)、馬場睦、小林遼香、山下光・中村菜摘(ピアノ)、松野祥己、岡島有里(打楽器)、山下真生(テノール)、志賀勇太(バリトン)、角田佳奈(フルート)、半澤伊吹(案内) 青山夕夏(フルート/監修)

参加人数：85人



「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.04/リアルをめぐって」関連

「音楽とリアル」

「リアル」をキーワードに、現代音楽の曲を紹介した。昔から歌い継がれている民謡を楽譜として残し、作品として「リアル」に再現した間宮芳生、バッハのプレリュードを現代風にアレンジしたブルース・スタークの曲などをバリトンとフルート、ピアノで演奏した。

6月21日(土)13:30～14:00

演奏者：田所博(フルート)、大山晃(バリトン)、大山まゆみ(ピアノ)

参加人数：115人

「三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 高松」関連

「家族で楽しむ動物いっぱい音楽会」

未就学児でも家族と一緒に歌ったり、踊ったりできる曲を集めた。クラシックの「動物の謝肉祭」ではクイズを交えて何の動物をイメージした曲か考えたり、スライドショーで絵を見ながら歌を披露する「誰かが星をみていた」など、全身を使って音を楽しむコンサートとなった。

8月24日(日)13:30～13:40

場所：講堂

演奏者：みゅーじっくすペーす・コモド

参加人数：130人



「エヴァンゲリオン展」関連

「BACH-Evangelist der Musik」

展覧会にちなみ、アニメ「エヴァンゲリオン」の劇中曲でおなじみの無伴奏チェロ組曲や、テノールが物語を語るように歌い上げるクリスマス・オラトリオなど、バッハの名曲を紹介した。

11月8日(土)13:30～14:00

演奏者：若井健司(テノール)、宮本隆一(チェロ)、石川陽子(チェンバロ)、高橋美香(ヴァイオリン)、中村菜摘(ピアノ)、青山夕夏(フルート/監修)

参加人数：144人



※共催事業

[展示]

エントランスホールを使った芸術的イベントへの共催。

主催＝高松メディアアート祭実行委員会

共催＝高松市

高松メディアアート祭 プレイイベント「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」

チームラボによる体感型デジタルアートの展示や「高松メディアアート会議」(8月2日)を実施。

7月23日(水)～8月10日(日)

休館日：7月28日(月)、8月4日(月)

場所：講堂

入場料：一般500円 大学生300円 高校生以下100円 未就学児童は無料

入場者数：延5,726人

[講演会]

主催＝文化庁、NPO法人都市文化創造機構

協力＝高松市、大阪市立大学都市研究プラザ

インクルーシブ・カフェ in 高松～文化庁委託事業「平成26年度 戦略的芸術文化創造推進事業」

11月29日(土)14:00～16:30 *開場13:30～

場所：講堂(入場無料)

ゲスト：大西秀人(高松市長)

田野智子(NPO法人ハート・アート・おかやま代表)

清水直人(美術家)

千葉尚実(美術家)

伊丹英徳(アートリンク参加・伊丹宏太郎さん父)

参加人数：70人

[コンサート]

主催＝高松市美術館友の会 ※友の会の頁参照

ふれあいコンサート～夏の宵 テノール&ソプラノ～

ふれあいコンサート～秋夜を彩る七色のしらべ～

主催＝街クラシック in 高松実行委員会

演奏＝瀬戸フィルハーモニー交響楽団

第6回街クラシック in 高松

10月31日(金)①15:30～16:00 ②17:30～18:00(木管五重奏)

11月7日(金)①15:30～16:00 ②17:30～18:00(フルート&ピアノ)

参加人数：延100人

4. サポート ショップ 事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を平成24年度から実施している。また、平成25年度から新たに、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、平成26年度も継続している。

参加店舗数：69店舗

美術館での割引券利用件数：248件



高松市美術館サポートショップマップ(表)



高松市美術館サポートショップマップ(中)



利用者割引券

5. 資料

(1) 収集

[購入作品]

平面

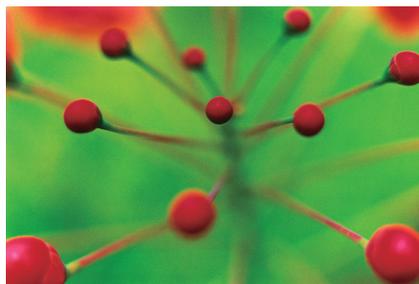
No.
作家名
作品名
制作年
技法・材質
寸法



1.
安藤 正子
竜の背中
2007
油彩・板張りキャンバス
120.3 × 130cm



2.
川島 秀明
soak(浸透)
2004
アクリル・キャンバス
162 × 130.3cm



3.
蜷川 実花
Acid Bloom
2003
Cプリント・プレキシガラス
97.0 × 145.6cm

-01
Acid Bloom
ed.2/3
MN-acid bloom-03-04-B0-2



-02
Acid Bloom
ed.AP
MN-acid bloom-03-22-B0-ap



-03
Acid Bloom
ed.2/3
MN-acid bloom-03-39-B0-2

立体



4.
内藤 礼
死者のための枕
2013
シルク・オーガンジー・糸
5.8 × 4.5 × 2.85cm



5.
棚田 康司
木の花は星形の台に立つ
2014
樟材に彩色
98 × 98 × h154.5cm



6.
土屋仁応
Qilin / 麒麟
2014
樟・水晶、彩色
33 × 15 × 54

版画



-01
Mae



-02
Leora

7.
アレックス・カツ
Six Female Portraits
(6人の女性のポートレート)
2004
ヘリオグラフィック・ゼルカル・エッチング紙
40.2 × 30.4cm



-03
Tiffany



-04
Tara



-05
Sophie



-06
White Coat



8.
キキ・スミス
Sueño (眠り)
1992
エッチング、アクアチント、越前楮生漉き紙
106 × 197cm

工芸・漆工



9.
大谷 早人
籃胎蒔番 十二角食籠 蝶蜻蛉
2013
漆・籃胎
22.7 × 22.7 × h8.3cm

工芸・金工



10.
杉田 禾堂
鑄銅喫煙具 銘 平和
1925
鑄銅・銀・台(木)
26.3 × 37 × h10.5cm

(2) 貸出実績

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
岡崎乾二郎	斧を磨いて針にする Polishing an AX is Making a Needle.	田中信太郎・岡崎乾二郎・中原浩大 ～かたちの発語 BankART 1929	26.4/25 ～ 6/22
笹山忠保	金彩陶辺 No.1	現代陶芸 笹山忠保展 －反骨と才気の成せる造形－ 滋賀県立近代美術館	26.4/26 ～ 6/29
音丸耕堂 北原千鹿 三木富雄 三木富雄 森村泰昌 上田薫 上田薫 金昌烈 名和晃平 名和晃平	彫漆 食籠 双魚 置物 耳 No.120 耳 ボデゴン(鼻つき洋梨) スプーンのゼリー-B なま玉子J 水滴 J.T.83003 PixCell[Shoe # 6(L)] PixCell[LEGO-F1(Ferrari) # 1]	美術館でわぁお！ わくわくアート×クラフト展 浦添市美術館	26.8/1 ～ 9/15
三沢厚彦	Dog 2004-02	三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 岩手 岩手県立美術館	26.9/6 ～ 10/13
田中 岑	飛行	いろいろ、そうそうー田中岑展 川崎市市民ミュージアム	26.9/6 ～ 11/3
堀 浩哉	無題	起源－堀 浩哉 多摩美術大学美術館	26.10/18 ～ 11/9
玉楮象谷	存清 網代杯	存清	
玉楮象谷	存清 香合	五島美術館	26.10/25 ～ 12/7
藤川蘭斎	存清 重箱		

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
磯井如真 磯井正美 山下義人	存清 六角香盆 蒔醬つばき文箱 くれない蒔醬箱	日本のわざと美展－重要無形文化財と それを支える人々 堺市博物館	26.11/15～27.1/12
藤田正堂 太田 儔 磯井如真	彫漆蒔醬 蓋物 律 籃胎蒔醬 茶箱 浅春 蒔醬 筆筥銀葉アカシヤ之図	香川県漆芸研究所創立60周年記念展 香川県文化会館	26.11/22～12/7
高松 次郎	影の圧搾	高松次郎ミステリーズ 東京国立近代美術館	26.12/2～27.3/1
山口勝弘 高松次郎 高松次郎	Kiss 遠近法の人物 No.192 遠近法のテーブル	わが愛憎の画家たち 一針生一郎と戦後美術 宮城県美術館	27.1/31～3/22
河口龍夫 立石紘一 立石紘一 三木富雄	石と光 哀愁列車 東京バロック 耳		

(3) 修復実績

作家名	作品名	制作年	材質
三尾公三	Fiction space(B-2)	1970	アクリリック・カラー吹付、木製パネル
小島信明	CUT OUT 2	1967	ラッカー・パネル
森村泰昌	ボデゴン(鼻つき洋梨)	1992	ミクストメディア
山口勝弘	Kiss	1968	プラスチック・蛍光灯
音丸耕堂	彫漆月之花手箱	1942	漆・木

6. 利用実績

[特別展]

		北原照久 コレクション	アニュアルvol.04	三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 高松	エヴァンゲリオン 展	計	
開催期間		4/11～5/18	5/27～6/22	7/11～8/24	10/10～11/24		
開催日数		33	24	39	40	136	
有料	通常	一般	2,731	697	5,280	9,095	17,803
		大学生	125	47	255	913	1,340
	割引	一般	366	182	566	305	1,419
		大学生	11	3	47	18	79
	前売	一般	173	55	202	771	1,201
	大学生	1	2	5	52	60	
共通定期観覧券		407	201	298	192	1,098	
小計		3,814	1,187	6,653	11,346	23,000	
無料	高校生	193	95	413	1,573	2,274	
	中学生	154	92	1,315	1,176	2,737	
	小学生	361	59	1,419	1,526	3,365	
	就学前	182	30	1,270	361	1,843	
	小計	890	276	4,417	4,636	10,219	
免除	大学生ほか	83	0	147	77	307	
	引率者	17	8	34	68	127	
	障がい者介添人	379	98	332	426	1,235	
	小計	479	106	513	571	1,669	
招待券等		505	466	2,759	550	4,280	
観覧者総数		5,688	2,035	14,342	17,103	39,168	
一日当たり入場者数		172	85	368	428	288	
夜間(火～土曜日の17～19時)		146	105	577	819	1,647	

		第1期	第2期	第3期	第4期	計	
開催期間		4/5～6/8	6/14～8/17	8/23～10/19	10/25～12/27		
開催日数		56	56	50	55	217	
有料	通常	一般	294	261	534	417	1,506
		大学生	13	16	43	20	92
	割引	一般	38	43	102	149	332
		大学生	0	1	10	1	12
共通定期観覧券		194	171	112	65	542	
小計		539	492	801	652	2,484	
無料	高校生	123	161	35	83	402	
	中学生	61	486	127	79	753	
	小学生	157	466	387	711	1,721	
	就学前	32	341	45	21	439	
	小計	373	1,454	594	894	3,315	
免除	大学生ほか	58	32	183	59	332	
	引率者	11	21	26	55	113	
	長寿	293	236	313	306	1,148	
	障がい者介添人	106	102	115	79	402	
	小計	468	391	637	499	1,995	
招待券等		1,682	3,806	807	1,189	7,484	
観覧者総数		3,062	6,143	2,839	3,234	15,278	
一日当たり入場者数		55	110	57	59	70	
夜間(火～土曜日の17～19時)		164	345	62	130	701	

[一般・企画展示室]

展覧会名	会期	日数	入場者数
一榮会書展	4/4～4/6	3	515
第7回ふるさと美術展	9/2～9/7	6	942
毎日書道学会展	9/12～9/14	3	1,094
第41回高松市民美術展	9/18～9/21	4	2,149
第56回墨華書道展	9/23～9/28	6	2,668
硯友展	9/30～10/5	6	1,517
日本墨彩画院展	12/3～12/7	5	912
第31回香川県高等学校総合文化祭 美術・工芸展	12/11～12/14	4	468
第31回香川県高等学校総合文化祭 書道展	12/11～12/14	4	408
香川県小中学校総合文化祭	12/20～12/24	4	5,723
高松市教育文化祭展覧会	12/20～12/24	4	5,414
合計	11展	49	21,810

[市民ギャラリー]

展覧会名	会期	日数	入場者数
第17回グループ版展	4/8～4/13	6	390
瑞心展	4/15～4/20	6	498
あかつき会展	4/29～5/4	6	565
2014市原佳代書作展	5/8～5/11	4	581
第18回双樹展	5/12～5/18	7	658
第18回Aアートクラブ油絵展	6/10～6/15	6	445
第41回チャーチル会高松展	6/17～6/22	6	689
父(漆)ー娘(書)展ーいまー	6/24～6/29	6	691
第9回大吉Family展	7/1～7/6	6	544
二科会写真部香川支部写真展	7/8～7/13	6	523
第4回ひかり絵画研究会展	8/5～8/10	7	536
土曜の会展	8/12～8/17	6	516
新協香川第11回近作展	9/2～9/7	6	908
第49回旅の思い出展	9/9～9/15	7	694
創元会 香川支部展	9/17～9/21	5	885
第2回アトリエフクロウ絵画展	9/23～9/28	6	737
増井カネ子米寿日本画展	10/7～10/12	6	667
第20回サロンエウスン作品展	10/15～10/19	5	940
第2回一期一絵 高松高校美術部OB/OG展	10/27～11/3	7	487
進空会 模型展示会	11/5～11/9	5	873
第七回アトリエ樋笠作品展	11/11～11/16	6	370
第15回グループアイズ展	11/18～11/23	6	560
第4回松本弘子・岩本敬子2人展	11/26～11/30	5	340
高松絵画美学展	12/2～12/7	6	660
第3回景光会書展	12/12～12/14	3	301
第36回香川県高等学校美術工芸展	12/18～12/21	4	400
合計	27展	149	15,458

[講堂]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	455	130	0	5,826	60	330	100	270	80	0	0	0	7,251
利用回数	6	2	0	19	1	5	1	5	2	0	0	0	41

[講座室]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	710	795	900	1,040	960	1,170	1,096	965	1,130	0	0	0	8,766
利用回数	34	37	43	48	42	52	51	50	47	0	0	0	404

高松市塩江美術館

平成26(2014)年度

1. 展覧会

(1) 企画展

8展
開催日数 257日間
入場者数 5,529人

*印はコレクションを活用した展覧会



及川みのる展 メルヘンカモン

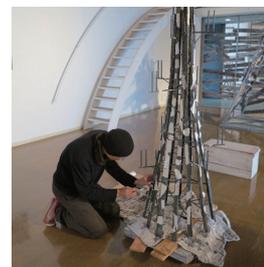
会期 2014年4月27日(日)～6月15日(日)
入場者数 1,201人

宮城県気仙沼市出身の美術家及川みのる(1972-)は、故郷が壊滅的な被害を受けた東日本大震災から、世界がモノクロームに見え、生きることと作ることへの自問自答を繰り返したといます。そして、永遠に変わらないと信じていた自然との向き合い方を見つめ直し、絶望を希望に変えるため“メルヘン”の表現を試みました。この“メルヘン”は、夢や空想ではなく、現実によってくる「希望」そのものであり「メルヘンカモン」という言葉は、強く強く、前へ前へと進もうとする、未来へのスローガンとして掲げられています。

本展では、故郷の海を想って物語を紡いだ乙女たちの陶彫、ワカメや魚をモチーフにした木版画、ユーモアと祈りを込めたインスタレーションを展示。これまで培ってきたアートに対する憧憬や心情を写真と映像作品で振り返り、独自のスタイルで切り拓いた“メルヘン”をご紹介します。



展示



公開制作

[出品リスト]

No.	作品名	制作年	No.	作品名	制作年
1.	トーキマン	2001	12.	蔵下まゆみ	2013-14
2.	ちちホヤジ	2010	13.	甲殻カニ子	2013-14
3.	ホヤむすこヘルメット	2010	14.	三陸うお美	2013-14
4.	ホヤ鋏夫	2010	15.	三陸うに子	2013-14
5.	海とワカメと魚とヒトと	2011	16.	砂地エイ子	2013-14
6.	75g テスピ	2013-14	17.	館魚子	2013-14
7.	磯貝サザ美	2013-14	18.	押忍っ高松工芸美術男子	2014
8.	磯貝若芽	2013-14	19.	唇つや子の杜	2014
9.	胃下野スミ江	2013-14	20.	2時まで	2014
10.	貝柱ひろみ	2013-14	21.	ラグ美術	2014
11.	梶木紀子	2013-14			

[関連イベント]

メルヘンライブ★

学校訪問ワークショップ「閉校記念 一枚の布に思いを込めよう」☆

学校訪問ワークショップ「閉校記念 紙窯で陶芸教室」☆

★=芸術的催物の頁参照 ☆=教育普及の頁参照

[掲載記事]

四国新聞4月26日「被災地の『希望』出現」

高松市塩江美術館 コレクション展

いろとかたちの時空間

猪熊弦一郎
川島猛
四宮金一

高松市塩江美術館
SHIONOE MUSEUM OF ART
〒761-1611
香川県高松市塩江町安原上602番地
TEL:087-893-1800 FAX:087-893-1833

2014
7.4(金)～7.27(日)

入場料：一般300円 大学生150円
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日：月曜日(ただし21日開館、22日休館)

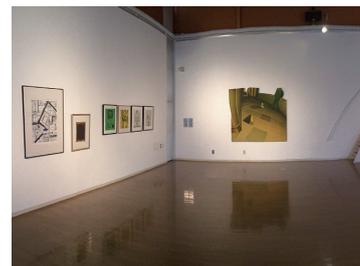
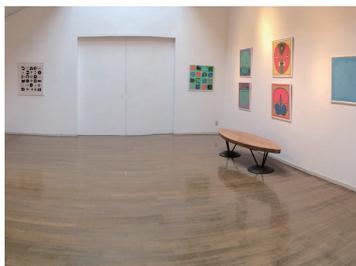
猪熊弦一郎・川島猛・四宮金一 *

いろとかたちの時空間

会期 2014年7月4日(金)～7月27日(日)

入場者数 308人

収蔵作品より猪熊弦一郎、川島猛、四宮金一の三人展を開催しました。三人は香川県に生まれ、それぞれ異なる時期にニューヨークに滞在し創作活動を行っています。モダンでダイナミックな平面表現で知られる猪熊、記号化された有機的なフォルムを描く川島、変形キャンバスを用いて立体的な空間を表す四宮、三人はそれぞれ独自の感性によって色や形を構成し制作しています。本展では、三者三様の個が放つ、色と形による広がりを持つ作品35点をご紹介します。



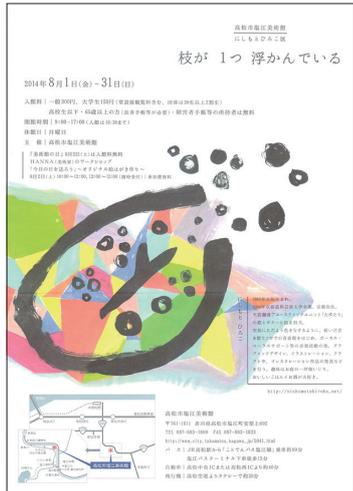
展示

[出品リスト]

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1.	猪熊弦一郎	都市の中の都市	1978	19.	川島猛	100-10	1968
2.	猪熊弦一郎	無題	1978	20.	川島猛	No.3	1968
3.	猪熊弦一郎	カチナドールA	1980	21.	川島猛	Red and Red	1969
4.	猪熊弦一郎	カチナドールS	1980	22.	川島猛	Yellow A - A	1968
5.	猪熊弦一郎	カチナドール	1980	23.	川島猛	No.695	1969
6.	猪熊弦一郎	カチナドール	1980	24.	川島猛	No.691	1969
7.	猪熊弦一郎	無題	1954	25.	川島猛	No.690	1969
8.	猪熊弦一郎	都市のコンポジション	1966	26.	川島猛	Blue on Red	1969
9.	猪熊弦一郎	雑誌令女界さし絵		27.	川島猛	Blue Bird	1969
10.	四宮金一	光を求めて	1996	28.	川島猛	No.7011	1969
11.	四宮金一	ルームシリーズ	1984	29.	川島猛	Yellow Bird	1969
12.	四宮金一	孤独の航海 No.(2)	1993	30.	川島猛	No.694	1967
13.	四宮金一	ルームシリーズ	1984	31.	川島猛	Red and Purple	1967
14.	四宮金一	ROOMの屈折	1987	32.	川島猛	No.695	1969
15.	川島猛	yellow and silver A-B	1968	33.	川島猛	April	1989
16.	川島猛	No.18	1968	34.	川島猛	April	1989
17.	川島猛	No.40 AI	1969	35.	川島猛	July 24	1989
18.	川島猛	No.15	1969				

[掲載記事]

・四国新聞「NYに感化 三者三様」



にしもとひろこ展 枝が1つ浮かんでいる

会期 2014年8月1日(金)～8月31日(日)
入場者数 612人

大阪府出身のアーティストにしもとひろこ(1982-)の個展。にしもとは、単独での「空気にただよう色をなぞるように、紡いだ音を歌う」音表現や、ボーカル・コーラスサポートでの音楽活動、イラストレーション、墨汁等を用いたペインティングによるライブパフォーマンスなど、様々なジャンルにわたり創作活動を行っています。平成25年度に当館で開催したカミイケタクヤ展「森が崩れた日」では、住吉山実里とのユニットでクロージングパフォーマンスを行いました。

本展では墨汁や絵具を使ったイラストレーションや、枝や木の葉、野花などを用いて、音表現からうまれた自作の話を原案とした派生インスタレーションをご紹介します。



展示

[展示作品]

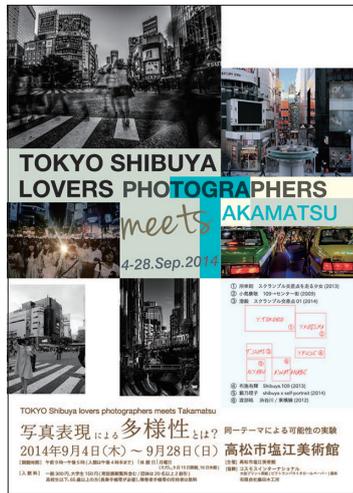
枝が1つ浮かんでいる(2014年)

[関連イベント]

オープニングパフォーマンス★

美術館の日・HANNAワークショップ「今日の日を送ろう～オリジナル絵はがきづくり～」☆

★=芸術的催物の頁参照 ☆=教育普及の頁参照



TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu

会期 2014年9月4日(木)～9月28日(日)
入場者数 491人

「TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS」は、高松市出身で渋谷の街を撮り続けてきた写真家・所幸則(1961-)を中心とした、渋谷を愛し記録し続ける芸術写真家集団です。2012年に結成し、2013年3月には東京・目黒でグループ展を開催しました。東京以外での初めての展覧会となる本展では、所幸則と5名の若手作家・小島康敬(1977-)、澄毅(1981-)、布施有紀(1975-)、藪乃理子(1981-)、渡部暁(1973-)の作品を紹介しました。同じ「渋谷」をモチーフに、其々の作家が捉えた写真の多様性を体感できる作品が並びました。会期終盤には、参加作家たちが「高松」で新たに撮影した作品を一部展示替えしてご紹介しました。



展示

アーティストトーク

[関連イベント]

澄毅ワークショップ☆
 アーティストトーク☆
 写真レビュー(一般作品の講評)★
 ☆教育普及の頁参照 ★芸術的催物の頁参照



所幸則展 —時間と空間の世界—

会期 2014年10月3日(金)～10月29日(水)
 入場者数 722人

「TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu」展に引き続き、高松市出身の写真家所幸則(1961-)の個展を開催しました。所は大阪芸術大学を卒業後、渋谷を拠点に活動し、一世を風靡する広告写真を数多く残しています。2008年からは「渋谷1 sec(セコンド)」シリーズによってファインアートフォトグラファーとしての地位を確立し、世界的に活躍しています。2014年には写真集『ONE SECOND Vol.01 SHIBUYA』を出版。本展では、「渋谷ワンセコンド前編」完結編を中心に、写真集に収録されなかった作品や、新たなシリーズである「アインシュタインロマン」を一部ご紹介しました。また4K大型モニターによる作品紹介やトークショーなども開催。



展示

[出品リスト]

No. 作品名

1. Ginza Metro Line and construction site 2008.08
2. Girl on Tokyu Toyoko Line 2011.06
3. Man and high school girl on the pedestrian bridge crossing Meiji Street 2008.06
4. Waiting for the bus at Shibuya Bus Terminal 2008.09
5. Woman in hat realizes being photographed at Shibuya Scramble Crossing 2013.09
6. Former TOKYU TOYOKO Department Store seen from the pedestrian bridge crossing Route 246 2009.04
7. Route 246 nearby Shibuya Station 2008.07
8. Ginza Metro Line and former TOKYU TOYOKO Department Store 2008.12
9. Former TOKYU TOYOKO Department Store seen from Miyamasu-zaka 2012.11
10. MIZUHO Bank Shibuya Central Branch 2009.07
11. CINEMA RISE and PARCO3 2008.07
12. Diagonal crossing and demolition of PARCO2 2013.03
13. ZARA on Inokashira Street 2009.07
14. 109 and passing truck seen from the center of Shibuya Scramble Crossing 2009.08
15. Morning office commuters rushing between SEIBU A and B 2013.03
16. Morning office commuters at Shibuya Center Street 2011.11
17. Girl crossing Shibuya Scramble Crossing 2012.11
18. Shibuya Station seen from Scramble Crossing 2011.09
19. Man on Inokashira Street 2008.06
20. Shibuya Station ticket gate seen from Hachiko Square 2011.12
21. Lottery sales booth and HIKARIE seen from Shibuya Station undergoing construction 2012.06
22. Salary man walking from TOKYU PLAZA 246 towards Shibuya Station 2010.11
23. Girl waiting for someone between PARCO 1 and GAP, while checking her mobile phone 2013.04

No. 作品名

24. Middle school student on a small street between Shibuya Station and Sakuragaoka 2011.06
25. Police box located at the top of Dogenzaka 2009.07
26. Shibuya Central Post office seen from an opening in construction site 2012.12
27. Armored vehicle and crossing man 2008.07
28. Small street leading towards Harajuku 2008.06
29. MARK CITY exit 2009.07
30. Newly opened ZARA in the former TAISEIDO Bookstore site 2012.01
31. HIKARIE construction site and Ginza Metro Line seen from the balcony of former TOKYU TOYOKO Department Store 2012.02
32. REDBULL building seen from Shibuya facing towards KODOMO NO SHIRO 2012.11
33. Passing car and SEIBU Department Store 2008.12
34. PARCO1 and 3 seen from Spain-zaka 2009.04
35. Shibuya cityscape reflection and high heel seen through the glass façade of HIKARIE 2012.09
36. Former TAISEIDO Bookstore and Keio Bus 2008.09
37. UNIQLO on Dogenzaka 2011.04
38. MARUI seen from Inokashira Street 2008.12
39. Pedestrians crossing Sakura-zaka 2008.06
40. Girl with large baggage and morning office commuters in front of subway construction barricade 2012.11
41. Shuto Express and pedestrian bridge (alongside Route 246) seen from the west exit of Shibuya Station 2009.04
42. Meiji Street and Route 246 intersection 2008.07
43. Girl at Shibuya Bus Terminal 2008.07
44. Commuter pass sales booth near the Shibuya East Bus Terminal 2009.04
45. Ginza Metro Line departing from Shibuya Station 2009.01
46. Pedestrian bridge and elevator 2011.09
47. Tokyu Toyoko Line platform at Shibuya Station 2008.08
48. Sakura-machi cityscape seen from HIKARIE facing towards Yoyogi 2012.12
49. DORAEMON character ride on the rooftop amusement park of former TOKYU TOYOKO Department Store 2012.03
50. Rusted steel column on the rooftop amusement park of former TOKYU TOYOKO Department Store 2012.03
51. INFOS Tower seen from a secret spot in the former TOKYU TOYOKO Department Store rooftop 2012.01
52. Rooftop beer hall and GOTO Planetarium seen from the former TOKYU TOYOKO Department Store rooftop 2012.03
53. KITTY character ride and reflections from HIKARIE glass façade seen on the rooftop amusement park of former TOKYU TOYOKO Department Store 2012.01
54. National flag waving on the highest point of former TOKYU TOYOKO Department Store 2012.01
55. Dome roof of former TOKYU TOYOKO Department Store seen from a secret spot 2012.01
56. Boys playing futsal on the West Annex rooftop of former TOKYU TOYOKO Department store 2012.01
57. My shadow on the rooftop of TOKYU TOYOKO Department Store 2012.01
58. Ever-changing Shibuya cityscape seen from Miyamasu-zaka traffic light 2013.10

[関連イベント]

福原寛(福原流笛方)×所幸則 演奏・トーク★
杉山武毅(Gallery TANTO TEMPO ディレクター)×所幸則 ゲストトーク★
徳澤青弦(チェリスト、作曲家)×所幸則 演奏・トーク★
★=芸術的催物の頁参照



大木裕之展 現代子

会期 2014年11月14日(金)～2015年1月18日(日)

入場者数 825人

高知在住のアーティスト大木裕之(1964-)の個展。東京大学工学部建築学科在学中より映像制作を始め、90年にイメージフォーラムフェスティバル審査員特別賞を受賞。91年には高知に拠点を置き、96年ベルリン国際映画祭にて高知県立美術館企画《HEAVEN-6-BOX》がNETPAC賞を受賞し、その後も多くの映画祭にて上映しています。

大木の活動は映像表現のみに留まらず、インスタレーション、パフォーマンス、絵画に至るまで、その表現手法は多岐に渡ります。2010年ワタリウム美術館で個展を開催、グループ

展では「クールの時代」(高知県立美術館、1995)、「時代の体温展」(世田谷美術館、1999)、「六本木クロッシング」(森美術館、2004)など国内外の展覧会に数多く出品し、映像というジャンルを超え、現代美術のシーンにおいても広く注目を集めています。

大木は、98年から香川を中心に毎年撮影する作品群《デジシリーズ》をスタートし、また高松も含めた香川県内の各所で撮影を行い、地域とのつながりの深いアーティストとなっています。本展は「現代子(げんだいし)」という造語をテーマとしてそのユニークな表現を紹介するものです。モニター、プロジェクターによる近年の映像作品、ドローイング、ペインティング、インスタレーション作品など約50点と、様々な事物が介在するワーク・イン・プログレス(変化し続ける展示)によって大木裕之の過去—現在をご紹介しました。



展示

[主な出品リスト]

No.	作品名	制作年
1.	哪木(ナム)	2004-
2.	万象無常のための未発表映像	
3.	フー・イズ・ニシムラ	1999-
4.	色風	1991
5.	3+1	1996-97
6.	リダ	2011
7.	木(ム)	2011

[関連イベント]

開館20周年記念 能勢伊勢雄×大木裕之ゲストトーク★

開館20周年記念 工藤冬里×大木裕之ライブ・トーク★

★=芸術的催物の頁参照



千葉尚実・HANNA展 図と地の温度

会期 2015年1月25日(日)～3月8日(日)

入場者数 578人

香川県出身の若手美術家、千葉尚実とHANNAの二人展。二人は本展開催の数年前に出会い、2013年に芸術家が主催となり開催された「A.I.R. Honjima Art Project」や、パフォーマンスユニット「こんな夢を見た」(千葉・HANNA・凡土)などの共同活動も意欲的に行ってきました。

千葉のアイロニーを含んだ作品表現は様々な技法・手法が用いられますが、一貫して私的な出来事やそこからくる心象などをモチーフにした制作を続けています。本展では2013年から描いている『卒業アルバムから』シリーズを中心に出品。HANNAは、「時間が人間や事物に及ぼす両義的な作用」をテーマに制作した映像を出品。空間を使ったインスタレーションにより、自立した作品が互いに作用し、主体となる事柄を支配していくように鑑賞者を誘いました。本展では、二人の「作品」の「図」と「地」のように対比的なアプローチに焦点を当て、そのスタイルの異なる作品をご紹介しました。



HANNA 展示



千葉尚実 展示



千葉尚実 展示

[出品リスト]

No.	作家名	作品名	制作年
1.	HANNA	初めに青がある。次に黒、そして	2014
2.	HANNA	tempo、la loingtaineより	2014
3.	HANNA	その道まで	2014
4.	HANNA	望みの先に	2014
5.	HANNA	青いMarieのポートレート	2013
6.	HANNA	2012年8月より	2012
7.	HANNA	制止する間	2014
8.	HANNA	無題	2014
9.	HANNA	レールの物語(原文より選抜)	2014
10.	HANNA	梓、初めから身はそこに無い	2014
11.	千葉尚実	ウニのための納骨堂	2015
12.	千葉尚実	私が生まれてから死んだ家族の像	2013
13.	千葉尚実	卒業アルバムから	2013-
14.	千葉尚実	無題	2015
15.	千葉尚実	ジンジャ	2015

[関連イベント]

HANNAビデオワークショップ☆
 千葉尚実 指でオブジェをつくる☆
 アーティストトーク☆
 ☆=教育普及の頁参照

高松障がい者アートリンク事業 報告展 Vol.2

障がいのある人たちの日常に、アーティストがやってきました。どんなことが始まるのでしょうか。それぞれの言葉、それぞれの日常のリンクから生まれた世界の報告展を行います。

1 期 2015年3月14日(土)～3月29日(日)
 9:00～17:00(入館は16:30まで) ※休館日：月曜日

16 所 高松市塩江美術館 (高松市高松市塩江町東町上600)

入館料：一般300円 大学生150円(愛媛県観光料含む)
 高松市以下、65歳以上の方は(高松市を除く)障害者料をのぞく方は無料

主催：高松市塩江美術館、高松市(平成26年度障がい者アートリンク事業)
 協賛：アートリンク「16の塩江美術館」アートリンク事務局、093-824-1111(TEL)093-824

LIFE LIFE LIFE
高松障がい者アートリンク事業報告展 Vol.2

会期 2015年3月14日(土)～3月29日(日)
 入場者数 452人

高松市では、瀬戸内国際芸術祭の関連イベントとして障がい者と芸術家が1対1のペアになって創作活動に取り組む「高松アートリンク・プロジェクト」を過去2回開催しており、個性豊かな作品は市民らの注目を集めました。本展では、平成26年度から取り組んでいる派遣事業を紹介しました。この取り組みは、同プロジェクトを発展させた試みとして高松市内の事業所6カ所に対し、絵画や造形、創作ダンスなど多彩なジャンルの5組の芸術家をそれぞれ派遣した活動です。この報告展を通して、豊かな感性や個性をもつ障がいのある人たちとアーティストとの関わってきた軌跡を辿り、新たな価値・可能性を見出しました。

会期前の2月26日(木)、27日(金)には高松市役所においてパネル展示も行われました。



展示



清水直人氏トーク

[関連イベント]

開館20周年記念 参加作家によるギャラリートーク☆
 開館20周年記念 「対話する。リンクする。」藤浩志トークセッション★
 開館20周年記念 ダンス&音の広場★
 ☆＝教育普及の頁参照 ★＝芸術的催物の頁参照

(2) 常設展

3期
 開催日数：297日間
 入場者数：5,848人
 美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

第1期常設展

画家の眼 熊野俊一のデッサン・スケッチ

会期 2014年4月19日(土)～7月21日(月・祝)
 入場者数 1,591人
 塩江町出身の画家熊野俊一の絵画の基本となるデッサンやスケッチを約30点紹介。熊野が見た人物や風景は、どのようなタッチで描かれているのか。油絵とは違う作品の魅力をご紹介します。

第2期常設展

20th Anniversary SHIONOE Collection はじまりをめぐる

会期 2014年7月26日(土)～11月30日(日)
 入場者数 2,433人
 開館20周年の新たなはじまりを記念して、多くの自作を寄贈し当館の開館に尽力した熊野俊一の初期作品を中心に展示。また開館当初に寄託された海外作家の作品も合わせてご紹介しました。

第3期常設展

20th Anniversary SHIONOE Collection はじまりをめぐる II

会期 2014年12月6日(土)～2015年4月19日(日)
 入場者数 1,744人
 開館20周年記念展「はじまりをめぐる」の第2弾。コレクションから、熊野俊一が渡欧する以前の作品を中心に、国内外アーティストの作品約30点をご紹介します。

2. 教育普及

平成26年度は、陶芸教室、風鈴作り教室、ワークショップ等12講座を開講した。

[ワークショップ]

**学校訪問ワークショップ
 閉校記念 1枚の布に思いを込めよう**

(及川みのる展 メルヘンカモン関連)
 全校児童・教員で1枚の布に1つの絵を描くワークショップ。閉校・きずな・安原をテーマに児童・教員それぞれが思い出を振り返り、イメージを膨らませた。マスキングテープで安原小の象徴である真竹や、思い思いの絵を描き、その上から手や足を使ったペインティングを施し、最後にテープをはがして巨大な絵を完成。
 7月14日(月)、15日(火)
 講師：及川みのる(美術家)
 場所：高松市立安原小学校 体育館
 参加人数：延146人



**学校訪問ワークショップ
 閉校記念 紙窯で陶芸教室**

(及川みのる展 メルヘンカモン関連)
 全校児童・教員による陶芸教室。講師のアドバイスを受けながら、それぞれが形にしたいものを自由に作った。作品は1ヶ月かけて乾燥させた後、校庭に新聞紙を使った紙窯をつくり、児童が小学校へ宿泊するサマーキャンプの日に焼成。
 6月13日(金)、7月19日(土)
 講師：及川みのる(美術家)
 場所：高松市立塩江小学校 体育館・運動場
 参加人数：延74人



**美術館の日・HANNAワークショップ
 今日の日を送ろう～オリジナル絵はがきづくり～**

当日美術館周辺で撮影した写真をトレーシングペーパーに印刷し、それを自由に切り貼りし文字等と組み合わせる絵はがきを制作。希望者は、その日のうちにできた絵はがきを送りたい相手宛に発送。
 8月2日(土)
 講師：HANNA(美術家)
 場所：情報コーナー(受講無料)
 参加人数：30人



澄毅ワークショップ

(TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu 関連)

写真に針で穴をあけ、その写真を光に透かしてカメラでもう一度撮影する、澄の制作技法を用いて作品を制作。

9月6日(土)11:00～

講師：澄毅

場所：情報コーナー(受講無料)

参加人数：8人



指輪ホテル『断食芸人』 @塩江美術館ワークショップ

出演者と一緒の本公演の1シーンをつくるワークショップ。物語に出てくる言葉を動きで表現するレクチャーを行った。参加者は「断食芸人」本公演の一場で、観客に交じって客席で演技し作品を完成させた。

10月31日(金)18:30～20:30

講師：羊屋白玉、SKANK/スカンク(Nibroll)

場所：企画展示室

受講料：500円

参加人数：6人



ビデオワークショップ

(千葉尚実・HANNA展 図と地の温度関連)

参加者が各自持参したカメラを使って、不思議な映像を制作した。ガラスやプラスチック等透明な物を持ち寄り、それをレンズに透かしながら美術館周辺を撮影。

2月1日(日)14:00～16:00

講師：HANNA(美術家)

場所：情報コーナー

受講料：200円(材料費300円)

参加人数：8人



指でオブジェをつくる

(千葉尚実・HANNA展 図と地の温度関連)

指やその他のものを石膏で型取りし、組み合わせてオブジェを制作。

2月15日(日)14:00～16:00

講師：千葉尚実(美術家)

場所：陶芸館

受講料：200円(材料費300円)

参加人数：6人



[ギャラリートーク]

TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu アーティストトーク

TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu展の出品作家によるアーティストトーク。

9月5日(金)、6日(土)、7日(日)、27日(土)、28日(日)14:00～(7日のみ11:00～)

出演：所幸則、小島康敬、澄毅、藪乃理子(27、28日のみ)、渡部暁

場所：企画展示室(観覧券要)

参加人数：97人



千葉尚実・HANNA展 図と地の温度 アーティストトーク

各作家の制作秘話や、2人の共同活動などについてのアーティストトーク。

3月1日(日)14:00～

出演：千葉尚実、HANNA

場所：企画展示室(観覧券要)

参加人数：32人



LIFE LIFE LIFE 高松障がい者アートリンク事業 報告展Vol.2ギャラリートーク

平成26年度にはじまった障がい者アートリンク派遣事業の歩みやエピソードを、各作家と施設ごとに発表。

3月14日(土)14:00～15:00

出演：田野智子、宇都宮忍(yummydance)、岡田毅志、清水直人、千葉尚実

場所：企画展示室(観覧券要)

参加人数：32人



[風鈴作り教室]

8月23日(土)10:00～12:00、14:00～16:00

講師：貴志 勉(陶芸家)

場所：陶芸館

受講料：200円(材料費800円)

参加人数：24人

[陶芸教室]

基礎コースと経験者コースに分かれて、陶芸作品を制作する全6回講座。基礎コースでは陶芸の基礎を体験。経験者コースでは講師の指導を受けながら作品を制作。

10月11日(土)、25日(土)、11月1日(土)、22日(土)、29日(土)、12月13日(土) 全日10:00～12:30

講師：田淵太郎(陶芸家)

場所：陶芸館

受講料：1200円(材料費別途)

参加人数：延96人

[美術館の日]

8月第1土曜日を「美術館の日」と定め、展覧会(企画展：にしもとひろこ展 枝が1つ 浮かんでいる、常設展：20th Anniversary SHIONOE Collectionはじまりをめぐる)の観覧料を無料にしたほか、企画展オープニングパフォーマンス、HANNAワークショップ「今日の日を送ろう～オリジナル絵はがきづくり～」を開催。

8月2日(土)

参加人数：入場者数52人、オープニングパフォーマンス50人、ワークショップ30人

3. 芸術的催物

[主催事業]

コンサートなど他分野におけるアートイベントをホールにて開催。

メルヘンライブ

(及川みのる展 メルヘンカモン関連)

企画展「メルヘンカモン」に関連したDiamondlilyと及川みのるによるコラボレーションライブ。インスタレーションの作品を舞台に「艶子はゆれる」(作詞：及川みのる)をスペイン語で披露した。また、パフォーマンス後は、作家によるギャラリートークを開催。

6月1日(日)19:00～20:00

出演：Diamondlily、及川みのる

場所：企画展示室

入場料：500円

参加人数：76人



にしもとひろこオープニングパフォーマンス (美術館の日)

(にしもとひろこ展 枝が1つ 浮かんでいる関連)

展覧会テーマである音表現から生まれた自作物語を題材にした、朗読と歌、演奏を組み合わせたパフォーマンスを披露。

8月2日(土)15:30～16:00

出演：にしもとひろこ

場所：企画展示室(入場無料)

参加人数：50人



写真作品レビュー

(TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu 関連)

出品作家の4名が、一般から公募した作品を講評した。公募者の制作意向や出品作家による講評を公開。

9月6日(土)12:00～14:00

講師：所幸則、小島康敬、澄毅、渡部暁

場所：企画展示室(観覧券要)

参加人数：13人



福原寛 演奏&トーク

(TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu 関連)

所幸則の写真作品をスクリーンに投影し、福原流笛方の福原寛が笛を演奏するコラボレーションライブ。演奏後には2人によるトークを開催。

10月3日(金)18:30～

出演：福原寛、所幸則

場所：企画展示室(入場無料)

参加人数：18人



杉山武毅 ゲストトーク

(TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu 関連)

六甲山国際フォトフェスティバル総合ディレクターである杉山武毅と所幸則によるトーク。

10月4日(土)14:00～

出演：杉山武毅、所幸則

場所：企画展示室(観覧券要)

参加人数：48人



徳澤青弦 演奏&トーク

(TOKYO SHIBUYA LOVERS PHOTOGRAPHERS meets Takamatsu 関連)

所幸則の写真作品をスクリーンに投影し、チェリストで作曲家の徳澤青弦がチェロを演奏するコラボレーションライブ。演奏後には、スペシャルゲストのるいままと3人によるトークを開催。

10月25日(土)18:30～

出演：徳澤青弦、るいまま、所幸則

場所：企画展示室(入場無料)

参加人数：35人



[開館20周年
記念事業]

開館20周年記念演劇公演 指輪ホテル「断食芸人」

フランツ・カフカの短編小説『断食芸人』を原作とした物語を、指輪ホテルの羊屋白玉が、命を賭した愛と食欲の物語として演出。東京、高松、札幌の3会場で公演。

11月2日(日)18:30～、11月3日(月・祝)18:00～

出演：羊屋白玉、SKANK/スカンク(Nibroll)

場所：企画展示室

料金：[一般]前売2,500円/当日3,000円、

[学生]前売1,500円/当日2,000円

参加人数：117人



開館20周年記念 能勢伊勢雄×大木裕之 ゲストトーク

(大木裕之展 現代子関連)

互いに尊敬しつつこれまでの仕事を見てきた、大木裕之と能勢伊勢雄(写真家、PEPPER LAND代表)によるディスカッション。

12月20日(土)14:00～16:00

出演：能勢伊勢雄、大木裕之

場所：企画展示室(観覧券要)

参加人数：20人



開館20周年記念 工藤冬里×大木裕之 ライブ・トーク

(大木裕之展 現代子関連)
工藤冬里(音楽家、陶芸家)と、大木裕之によるコラボレーションライブとトーク。

2015年1月17日(日)14:00～
出演：工藤冬里、大木裕之
場所：企画展示室(観覧券要)
参加人数：56人



Photo by : GABOMI

開館20周年記念 ダンス&音の広場

(LIFE LIFE LIFE 高松障がい者アートリンク事業報告展 Vol.2 関連)

朝日平成園(福祉事業所)とyummydanceによる創作ダンスと、ほのぼのワークハウス(福祉事業所)と岩本象一による手作り楽器を使った音楽パフォーマンス。

2015年3月15日(日)、3月17日(火)
両日 14:00～15:00
出演：yummydance、岩本象一、
朝日平成園・ほのぼのワークハウスの皆さん
場所：企画展示室(観覧券要)
参加人数：134人

開館20周年記念「対話する。リンクする。」 藤浩志トークセッション

(LIFE LIFE LIFE 高松障がい者アートリンク事業報告展 Vol.2 関連)

藤浩志(作家、十和田市現代美術館館長)と、NPOハート・アート・おかやま代表の田野智子、出品作家4名によるトークセッション。

2015年3月14日(土)15:00～16:30
出演：藤浩志、田野智子、宇都宮忍(yummydance)、
岡田毅志、清水直人、千葉尚実
場所：企画展示室(観覧券要)
参加人数：51人



4. 貸館

[企画展示室]

文化的事業へ貸し出しを実施。

戸田由美子×長町貞夫写真展『伝える』

高松市在住の戸田由美子氏撮影による写真展。恩師である長町貞夫氏の作品も合わせた約30点を展示。入場無料。
2014年6月22日(日)～6月29日(日)
参加人数：213人

[陶芸館]

フラワーアレンジメント教室

季節のアレンジメント・ブーケ・ギフト用アレンジなど様々な作品を作るフラワーアレンジメント教室。
2014年5月21日・28日、6月4日・18日・25日、7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、11月19日(全日水曜日)
参加人数：40人

參考資料

施設概要

高松市美術館

所在地／高松市紺屋町10-4
敷地面積／4,497.24㎡
建築面積／3,202.68㎡
延床面積／15,799.48㎡ (うち美術館部分9,875.80㎡)
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(地上部)
鉄筋コンクリート造(地下部)
規模／地下2階地上5階(一部中2階)
工期／昭和60年12月～昭和63年2月
設計・監理／(株)佐藤総合計画

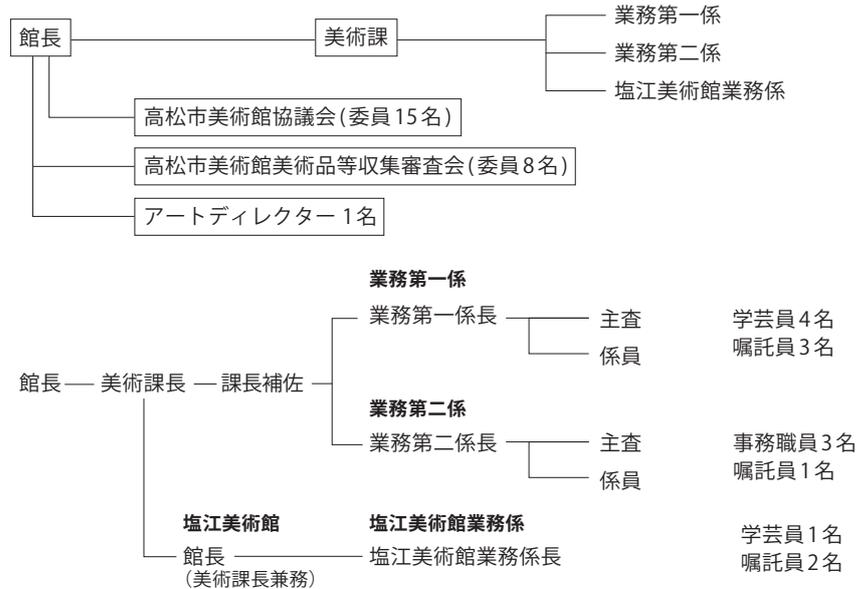
高松市塩江美術館

所在地／高松市塩江町安原上602番地
敷地面積／5,173.48㎡
建築面積／718.24㎡
延床面積／829.33㎡
構造／木造一部鉄骨造
規模／地上1階(一部2階)
工期／平成5年2月～平成5年12月
設計・監理／アーレン・プランニング研究所

平成28年1月31日現在

組織図

高松市創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部
美術館美術課



高松市美術館条例

高松市美術館条例(昭和39年高松市条例第44号)の全部を改正する。

設置

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、美術館を設置する。

名称及び所在

第2条 美術館の名称及び所在は、次のとおりとする。

名称	所在
高松市美術館	高松市紺屋町10番地4

事業

第3条 高松市美術館(以下「美術館」という。)は、第1条に規定する美術館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し、及びその奨励を行うこと。
- 美術に関する講座を開講すること。
- 美術に関する情報を提供すること。
- 美術館の施設・設備等(以下「施設等」という。)を美術に関する集会、展示等(施設のうち、講堂にあっては、文化に関するものを含む。)のために提供すること。
- 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に規定する観覧料を納付しなければならない。

施設等の使用許可

第5条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ高松市教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。許可された事項を変更する場合も、同様とする。

使用許可の基準等

第6条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。

- 美術館の設置目的に反する使用をするおそれがあると認められるとき。
- 館内の秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
- 施設等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- その他美術館の管理上支障があると認められるとき。

2 委員会は、管理上必要があると認めるときは、使用の許可に条件を付することができる。

使用目的の変更等の禁止

第7条 第5条の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用の目的を許可なく変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

使用許可の取消し、停止等

第8条 委員会は、使用許可後において、第6条第1項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき、又は使用者が同条第2項の許可条件若しくは前条の規定に違反したときは、使用許可を取り消し、若しくは停止し、又は条件を変更することができる。この場合において、使用者が損害を受けても、委員会は其の責めを負わない。

使用料の納付

第9条 使用者は、別表第2に規定する使用料を当該許可の際に前納しなければならない。ただし、国若しくは地方公共団体が使用する場合は委員会

が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

特別の設備等

第10条 使用者は、美術館に特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。
2 委員会は、管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において、前項の特別の設備等をさせることができる。

原状回復の義務

第11条 使用者は、使用后、使用した施設等及び前条の特別の設備等を使用許可期限内に原状に復さなければならない。使用許可の取消し等を受けた場合も、同様とする。

使用者の責任

第12条 使用者は、使用期間中善良な管理を怠ってはならない。

職員の立入り

第13条 美術館の職員は、管理上必要があると認めるときは、随時立入りをすることができる。

撮影の許可及び手数料

第14条 美術館に収蔵している美術品等について、学術研究等のため撮影をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。
2 前項の許可を受けた者は、別表第3に規定する手数料を納付しなければならない。

観覧料及び使用料の返還

第15条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

観覧料の減免

第15条の2 市長は、委員会において必要と認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。

利用の制限

第15条の3 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
(1) 秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
(2) 美術品等又は施設等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
(3) その他美術館の管理上支障があると認められる者

損害賠償

第16条 美術館の入館者又は使用者が、自己の責めに帰すべき理由により、美術品等若しくは施設等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

喫茶室の使用

第17条 委員会は、美術館内で喫茶室を営もうとする者に対し、1年以内の期間に限り、地方自治法（昭和22年法律第67号）第238条の4第7項の規定により使用を許可することができる。この場合において、委員会が必要であると認めるときは、同一人に対し引き続き使用を許可することができる。
2 前項の許可を受けた者は、高松市行政財産の目的外使用に関する使用料条例（昭和39年高松市条例第20号）別表に掲げる使用料を納付しなければならない。
3 前項の使用料は、毎月10日（その日が日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は土曜日に当たるときは、これらの日の翌日）までにその月分を納付しなければならない。

委任

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第4条から第17条までの規定は、同年8月6日以後の供用に係るものから適用する。

附則（昭和63年12月24日条例第27号）

この条例は、昭和64年2月1日から施行する。

附則（平成元年3月29日条例第24号）

1 この条例は、平成元年5月1日から施行する。ただし、第15条の次に1条を加える改正規定は、同年4月1日から施行する。
2 この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料については、なお従前の例による。

附則（平成6年3月28日条例第22号）

1 この条例は、平成6年4月1日から施行する。
2 この条例の施行の際現に使用を許可されている者に係る既納の使用料又はこの条例の施行の日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附則（平成9年3月27日条例第39号）

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

附則（平成9年6月26日条例第53号）

この条例は、公布の日から施行する。

附則（平成11年7月14日条例第19号）

この条例は、公布の日から施行する。

附則（平成12年3月27日条例第6号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月23日条例第38号）

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。
2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月23日条例第2号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成20年3月26日条例第29号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月26日条例第6号）

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附則（平成25年12月25日条例第103号）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。
2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

別表第1 美術品等観覧料（第4条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体（20人以上）
常設展示観覧	一般	200円
	大学生	150円
特別展示観覧	2,000円の範囲内において委員会がその都度定める額	

備考

1 「常設展示観覧」とは美術館が平常的に展示する美術品等の観覧をいい、「特別展示観覧」とは美術館が特別に企画展示する美術品等の観覧をいう。
2 「一般」とは15歳以上の者（大学生及び備考3の規定の適用を受ける者を除く。）をいい、「大学生」とは学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
3 就学年齢に達しない者又は学校教育法第1条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

別表第2 施設等使用料（第9条関係）

1 展示室使用料

室名	使用単位	使用料
一般展示室	1日	33,320円
企画展示室	1日	39,060円
市民ギャラリー	1日	8,490円

備考

- 1 企画展示室は、委員会が特に必要と認める場合に限り、使用することができる。
- 2 使用許可を受けた期間内に、休館日（搬出入のため展示室を使用する場合を除く。）がある場合は、当該休館日に係る使用料は徴収しない。

2 講堂使用料

使用単位	午前		午後		夜間		全日	
	午前9時	午後1時	午後6時	午前9時	午後1時	午前9時	午後9時	
室名	正午	午後5時	午後9時	午後5時	午後9時	午後9時	午後9時	
講堂	9,010円	12,800円	12,800円	21,810円	25,600円	31,220円		

備考

- 1 使用者が、営利を目的として使用するとき、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収するときの使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。
- 2 申込時間を超過し、又は繰り上げて使用するとき、超過又は繰上時間1時間につき、別に全日の使用料の10分の1の額を徴収する。この場合、30分を超える端数については、1時間とみなす。
- 3 使用料に10円未満の端数が生じたときは、10円に切り上げる。

高松市塩江美術館条例

設置

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図るとともに、市民に美術活動等の場を提供するため、高松市塩江美術館（以下「美術館」という。）を高松市塩江町安原上602番地に設置する。

事業

第2条 美術館は、前条に規定する美術館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品その他美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催すること。
- (3) 美術に関する講座を開設すること。
- (4) 美術館の施設・設備等（以下「施設等」という。）を美術等に関する集会、展示等のために提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するために必要な事業

観覧料

第3条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に規定する観覧料を納付しなければならない。

施設等の使用許可

第4条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会（以下「委員会」という。）の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更する場合も、同様とする。

2 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。

- (1) 美術館の設置目的に反する使用をするおそれがあると認められるとき。
- (2) 美術館内の秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) 長期間にわたる継続使用により、他の使用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。

3 委員会は、管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

使用許可の取消し、使用の停止等

第5条 委員会は、前条第1項の許可をした後において、同条第2項各号の

3 講座室使用料

室名	使用単位		全日
	午前	午後	午前9時～午後5時
講座室1	1,750円	2,340円	4,090円
講座室2	2,010円	2,730円	4,740円
講座室3	2,010円	2,730円	4,740円
講座室4	2,010円	2,730円	4,740円

備考

使用者が、営利を目的として使用するとき、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収するときの使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。

4 冷暖房装置使用料

種別	区分	講堂及び講座室
冷暖房料		その施設の使用料の2分の1の額

備考

使用料に10円未満の端数が生じたときは、10円に切り上げる。

5 附属設備及び器具使用料

省略

別表第3 美術品等撮影許可手数料（第14条関係）

区分	単位	手数料
学術研究を目的とする場合	1点につき1回	510円
出版等を目的とする場合	1点につき1回	5,220円

いずれかに該当する理由が生じたとき、又は同条第1項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、若しくは使用を停止させ、又は当該許可に付した条件を変更することができる。この場合において、使用者が損害を受けても、委員会は、その責めを負わない。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 前条第3項又はこの条の規定により前条第1項の許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により前条第1項の許可を受けたとき。

使用料の納付

第6条 使用者は、別表第2及び別表第3に規定する使用料を当該許可の際に前納しなければならない。ただし、国若しくは地方公共団体が使用する場合又は委員会が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

特別の設備等

第7条 使用者は、美術館に特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において、前項の設備又は器具の使用をさせることができる。

原状回復の義務

第8条 使用者は、使用を終わったとき、又は使用を中止したときは、当該許可に係る使用期限までに、施設等を原状に回復しなければならない。第5条の規定による許可の取消し又は使用の停止を受けたときも、同様とする。

2 委員会は、使用者が前項に規定する義務を履行しないときは、使用者に代わり原状に回復する。この場合において、使用者は、当該原状回復に要した費用を負担しなければならない。

撮影の許可及び手数料

第9条 美術館に保管し、又は展示している美術品等について、学術研究等のため撮影をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第4に規定する手数料を納付しなければならない。

観覧料等の返還

第10条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

観覧料の減免

第11条 市長は、委員会において必要と認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。

利用の制限

第12条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、美術館への入館を拒み、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 美術館内の秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
- (2) 美術品等又は施設等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
- (3) その他美術館の管理上支障があると認められる者

損害賠償

第13条 美術館の入館者又は使用者は、自己の責めに帰すべき理由により、美術品等又は施設等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。

高松市美術館協議会への諮問

第14条 委員会は、第2条各号に掲げる事業に関する基本的な事項については、高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例（平成20年高松市条例第29号）に規定する高松市美術館協議会に諮問するものとする。

職員

第15条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

委任

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

施行期日

1 この条例は、平成17年9月26日から施行する。

経過措置

2 この条例の施行の日前に町立塩江美術館条例（平成5年塩江町条例第9号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

高松市の重要な公の施設等に関する条例の一部改正

3 高松市の重要な公の施設等に関する条例（昭和39年高松市条例第5号）の一部を次のように改正する。
(次のよう略)

附則（平成20年3月26日条例第29号抄）

施行期日

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月26日条例第7号）

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附則（平成25年12月25日条例第104号）

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に使用等を許可されている者に係る既納の使用料及び手数料については、なお従前の例による。

別表第1 美術品等観覧料（第3条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体（20人以上）
一般	300円	240円
大学生	150円	120円

備考

- 1 「一般」とは15歳以上の者（大学生及び備考2の規定の適用を受ける者を除く。）をいい、「大学生」とは学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 2 就学年齢に達しない者又は学校教育法第1条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

別表第2 展示室使用料（第6条関係）

室名	使用単位	使用料
企画展示室	1日	4,320円

備考 第4条第1項の許可を受けた期間に、休館日（搬入のため企画展示室を使用する場合を除く。）がある場合は、当該休館日に係る使用料は、徴収しない。

別表第3 ホール及び陶芸室使用料（第6条関係）

使用単位	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
	午前9時 ～ 正午	午後1時 ～ 午後5時	午後6時 ～ 午後9時	午前9時 ～ 午後5時	午後1時 ～ 午後9時	午前9時 ～ 午後9時
ホール	1,610円	2,160円	1,610円	4,320円	4,320円	6,480円
陶芸室	1日（午前9時から午後5時まで）につき960円					

備考

- 1 使用者が、ホールについて、営利を目的として使用する場合は、又は入場料若しくはこれに類するものを徴収する場合の使用料は、この表に規定する額の3倍の額とする。
- 2 申込時間を超過し、又は繰り上げて使用するときの使用料は、超過又は繰上時間1時間につき、別に全日又は1日の使用料の10分の1の額を徴収する。この場合、30分を超える端数については、1時間とみなす。
- 3 冷暖房装置を使用する場合の使用料は、この表に規定する額の1.5倍の額とする。
- 4 使用料に10円未満の端数が生じたときは、10円に切り上げる。

別表第4 美術品等撮影許可手数料（第9条関係）

区分	単位	手数料
学術研究を目的とする場合	1点につき1回	310円
出版等を目的とする場合	1点につき1回	530円

沿革（開館以後）

昭和63年8月6日	高松市美術館開館（開館記念展「ベルギー王国リージュ・美術館名画展」開催） 収藏品図録Ⅰを刊行
平成元年	金曜日の夜間開館（9時～19時）を開始
平成2年	市制100周年記念展「松平家所蔵名宝展－明公を偲んで－」開催
平成6年	開館5周年記念展「讃岐漆芸の美展」開催 開館5周年記念事業として収藏品図録Ⅱを刊行
平成6年4月25日	塩江町立美術館開館（開館記念展「熊野俊一ゆかりの作家展」開催）
平成10年	開館10周年記念展「ロダン展」開催 収藏品図録Ⅲを刊行
平成11年	管理課、学芸課の2課を美術課に統合 美術館ボランティアcivi(シヴィ)の活動開始
平成12年	平日夜間開館（火～木曜日：9時～17時、金曜日：9時～19時）に移行
平成13年	平日（月～金曜日）夜間開館（9時30分～19時）に移行
平成14年	小中学生の常設展完全無料化を実施 「アートで遊ぼう!」事業開始
平成15年	「子どものアトリエ」事業開始 歴史資料館、市民文化センターなどと共同で収藏品情報システムを導入
平成16年	開館15周年記念展「玉楮象谷展」開催
平成17年	塩江町合併により、塩江美術館を組織統合
平成19年	美術館あり方検討委員会発足（平成20年2月25日に提言書を提出）
平成20年	市の機構改革により、市長部局（市民政策部、国際文化・スポーツ局）に改組 20周年記念展「高松市美術館コレクション+（プラス）ひびきあう音・色・形」開催 「美術館学習」事業開始
平成21年	高松市立美術館（高松市美術館・塩江美術館）の今後の運営方針を策定 収藏品図録Ⅳを刊行 「美術館の日」事業開始
平成22年	開館時間の見直しにより、9時30分～17時（但し、特別展開催期間中の火～土曜日〔祝日含む〕は9時30分～19時） に移行 高校生以下の観覧料無料化を実施 高松市美術館・塩江美術館の共通定期観覧券発行 瀬戸内国際芸術祭2010連携企画「森村泰昌 Mori Enshōrei」「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.01」 開催
平成24年	1月から3月まで臨時休館し、空調設備等の省エネ改修工事を実施 「高松市美術館サポートショップ」事業開始
平成25年	高松市美術館改修基本計画を策定 開館25周年記念展「チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち」ほか4展を開催 開館25周年記念コンサート「坂本龍一 Playing the Piano Tribute to Shinro Ohtake」開催 高松市美術館の改修基本設計・実施設計を行った（実施設計は平成26年4月まで）
平成27年1月	高松市美術館改修工事着手

高松市美術館友の会

1. 会員数

区分	平成26年度
一般会員	211人
賛助会員	6人(団体含む)

2. 事業

友の会の目的を達成するため、会報の発行、コンサート等芸術的催し物の開催、美術鑑賞旅行などの各種事業を実施した。

[会報誌の発行] 平成26年度 61号(平成26年9月)
62号(平成27年3月)

[コンサート] 場所：エントランスホール
時間：18:30～
入場料：会員無料、一般1,000円、高校生以下500円

夏の宵 テノール&ソプラノ

6月28日(土)
演奏者：江口順子(ソプラノ)、竹内俊介(テノール)、原田愛(ピアノ)
参加人数：131人



よんでんアンサンブル 秋夜を彩る七色の調べ

9月27日(土)
演奏者：木藤麻衣子(フルート)、立川美香(ピアノ)、西村絵梨名(フルート)、
山口裕加(オーボエ)、石田えりな(ソプラノ)、石川幸司(クラリネット)、
石川陽子(チェンバロ)
参加人数：161人



サククス・マリンバの響き

10月19日(土)
演奏者：泉川亜耶(マリンバ)、野崎風太(サクソフォーン)、
大藤雅士(サクソフォーン)
参加人数：139人

[鑑賞旅行] **大阪アート紀行**
あべのハルカス美術館、大阪市立美術館
5月31日(土) 参加人数40人

京都アート紀行
京都市美術館、京都国立博物館
11月9日(日) 参加人数40人

神戸・大阪アート紀行
神戸市立博物館、あべのハルカス美術館
3月1日(日) 参加人数41人



[催し] 会員特典の一つとして、「スペシャル・イベント」「イベント」を開催し、ワークショップや講演会を実施した。

「北原照久コレクション
現代アートと時代を映すおもちゃ展」

**スペシャル・イベント
北原照久さんとのタベ!**

5月4日(日)
講師：北原照久
参加人数：20人



「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.04」

**スペシャル・イベント
「ことばとあそぶ」**

6月7日(土)
朗読：篠原資明(当館アートディレクター)
参加人数：8人



「三沢厚彦 ANIMALS 2014 in 高松」

**スペシャル・イベント
「三沢厚彦 ANIMALS 秘話」**

8月3日(日)
講師：三沢厚彦
参加人数：30人



「エヴァンゲリオン展」

**スペシャル・イベント
「アニメの世界入門講座」**

11月9日(日)
講師：末原俊幸(高松市創造都市推進局戦略ミーティングメンバー)
参加人数：13人



高松市美術館友の会会則

名称及び事務所

第1条 この会は、高松市美術館友の会(以下「友の会」という。)といい、事務所を高松市美術館(以下「美術館」という。)内に置く。

目的

第2条 友の会は、美術に関心を持つ人々の美術鑑賞や研究調査の便宜を図り、会員相互の親睦を深めるとともに、美術館の活動を援助することを目的とする。

事業

第3条 友の会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 美術の鑑賞
- (2) 芸術的催物の開催
- (3) 会報の発行
- (4) その他友の会の目的達成のために必要な事業

会員

第4条 会員とは、第2条の目的に賛同した次の個人及び法人で所定の会費を納入した者をいう。

- (1) 一般会員(個人)
 - (2) 賛助会員(個人及び法人)
- 2 会員に会員証を発行する。

会費

第5条 会費は前納とし、金額は次のとおりとする。

- | | | | |
|----------|----|----|--------|
| (1) 一般会員 | 年額 | 1人 | 800円 |
| (2) 賛助会員 | 年額 | 1口 | 5,000円 |
- 2 会員の中途退会による会費の払戻しは行わない。

特典

第6条 会員は、次の特典を受けることができる。

- (1) 一般及び賛助会員は、常設展及び美術館主催の特別展を2割引で鑑賞できる。
- (2) 賛助会員は、常設展及び美術館主催の特別展を同伴者4人まで2割引で鑑賞できる。
- (3) ミュージアム・ショップが割引で利用できる。
- (4) 友の会主催の各種催物に優先的に参加できる。
- (5) 会報等の美術情報の提供を受けることができる。
- (6) その他会長が定めるもの。

役員

第7条 友の会に次の役員を置き、任期は2年とする。ただし、後任者が選任されるまで在任する。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 常務理事 1人
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2人

2 役員は、再任されることができる。

3 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 友の会に顧問を置くことができる。

5 理事及び監事は、理事会において選考し、総会の承認を得るものとする。

6 会長・副会長及び常務理事は、理事の互選により定める。

7 顧問は理事会で推薦し、会長が委嘱する。

役員職務

第8条 役員職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は友の会を代表し、会務を総理する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
- (3) 常務理事は日常の会務を処理する。
- (4) 理事は理事会を構成し、会務を処理する。
- (5) 監事は会計その他を監査する。
- (6) 顧問は会長の諮問に応じ、意見を述べることができる。

総会

第9条 総会は毎年1回定期総会を、必要に応じて臨時総会を会長が招集し、会議の議長は会長がこれに当たる。

2 総会に付議する事項は、概ね次のとおりとする。

- (1) 会則の改廃に関する事。
- (2) 役員承認に関する事。
- (3) 事業計画及び予算の承認に関する事。
- (4) 事業報告及び決算の承認に関する事。

理事会

第10条 理事会は必要の都度会長が招集し、会議の議長は会長がこれに当たる。

2 理事会は、友の会の運営について協議するとともに重要事項を審議する。

3 理事会は、構成員の過半数の出席をもって成立する。

企画委員会

第11条 友の会事業の執行に当たり理事会が必要と認めるときは、企画委員会を設置することができる。

2 企画委員会は、会員及び美術館関係者の中から会長が委嘱した企画委員で組織し、友の会事業の企画・立案に当たる。

議決

第12条 友の会の議決はすべて出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

ただし、会則の改廃については、出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

議事録

第13条 総会及び理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会又は理事会の日時及び場所
- (2) 役員の数
- (3) 総会又は理事会に出席した役員の氏名及び総会に出席した会員の数
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、当該総会又は理事会の出席者のうちから選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

会計

第14条 友の会の経費は、会費、寄付金、事業収入及びその他の収入をもってこれに充てる。

2 友の会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

事務局

第15条 友の会の事務を処理するため、必要な職員を置くことができる。

2 職員は会長が任免する。

委任

第16条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は、理事会において定める。

附則

1 この会則は、昭和28年4月1日から施行する。

(平成27年度の会員の特例)

2 平成26年度に会員であった者に係る平成27年度の特例については、次に掲げるとおりとする。

(1) 平成26年度に会員であった者は、平成27年度に限り、第5条第1項各号の規定にかかわらず会費は不要とし、第4条第1項に規定する会費を納入した者とみなし、会員とする。ただし、本人から退会の申し出があった場合は、この限りでない。

(2) 前号の規定により、平成27年度の会員となる者には、第4条第2項の規定にかかわらず、会員証を発行しない。

附則

この会則は、昭和42年7月1日から施行する。

附則

この会則は、昭和44年4月29日から施行する。

附則

この会則は、昭和49年5月19日から施行する。

附則

この会則は、昭和63年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成5年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成9年5月18日から施行する。

附則

この会則は、平成21年4月26日から施行する。

附則

この会則は、平成22年3月15日から施行する。

附則

この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成26年4月26日から施行する。